

「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施)  
結果とりまとめプレスリリース

資料2

# 関係人口の実態把握

(補足資料)

令和2年2月18日  
国土政策局 総合計画課

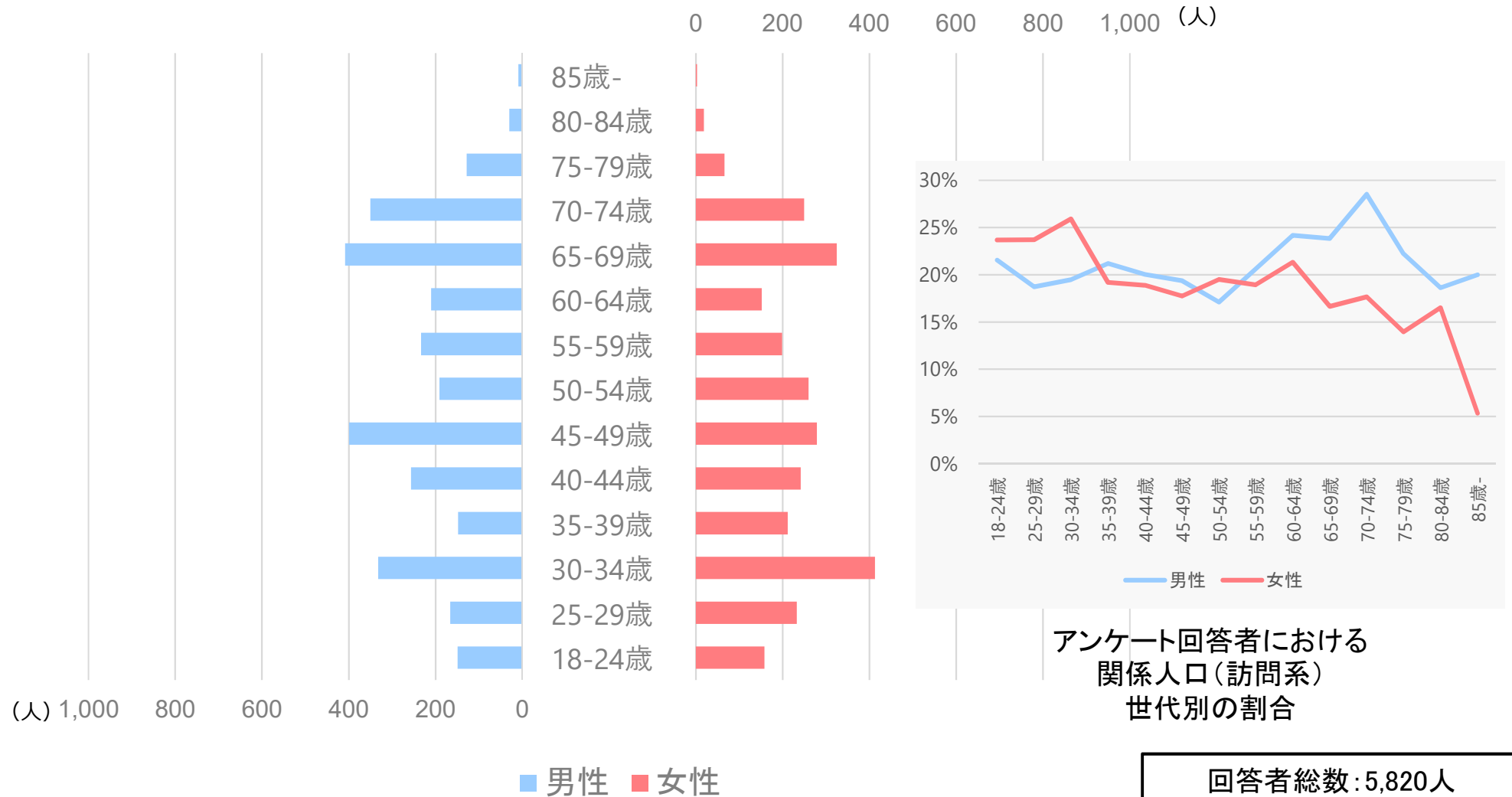
# 目次

<b>I. 関係人口(訪問系)はどのような人たちか</b> .....	<b>2</b>
1. 関係人口(訪問系)の人口構成 .....	3
2. (参考) アンケート回答者全体の人口構成 .....	4
3. 三大都市圏の関係人口(訪問系)の職業 .....	5
4. 関係人口(訪問系)の訪問先への移動時間 .....	6
5. 関係人口(訪問系)の訪問先への訪問頻度 .....	7
6. 関係人口(訪問系)の関係先での滞在期間 .....	8
7. 関係人口(訪問系)の関係先への同行者 .....	9
8. 関係人口の同行者別の地域との関わり方 .....	10
9. 東京都在住の関係人口(訪問系)の関係先 .....	11
10. 東京都在住の関係人口(訪問系)の関係先(地図) .....	12 ~ 19
11. 大阪市在住の関係人口(訪問系)の関係先 .....	20
12. 大阪市在住の関係人口(訪問系)の関係先(地図) .....	21 ~ 28
13. 関係人口(訪問系)が地域を訪問したきっかけ .....	29
14. 関係先を移住先としてどのように考えているか .....	30
<b>II. 地域との関わりを深化させるために必要なことは何か</b> .....	<b>31</b>
15. 三大都市圏居住者の居住地での地域活動への参加状況 .....	32
16. 大分類ごとの関係人口の地域活動への参加状況 .....	33
17. 特定の地域と関わりのない人が関わりを持つ地域のイメージ .....	34
18. 特定の地域と関わりのない人が地域で行ってみたい過ごし方 .....	35
19. 直接寄与型が考える地域との関わり方の深化の方向性 .....	36
20. 大分類ごとの地縁・血縁先への関わり方 .....	37
<b>III. 関係人口(訪問系)類型化マップ</b> .....	<b>38</b>
21. 関係人口(訪問系)の地域における活動ポテンシャル① .....	39
22. 関係人口(訪問系)の地域における活動ポテンシャル② .....	40
<b>【参考】アンケート結果の整理プロセス</b> .....	<b>41</b>

1. 関係人口（訪問系）とはどのような人たちか

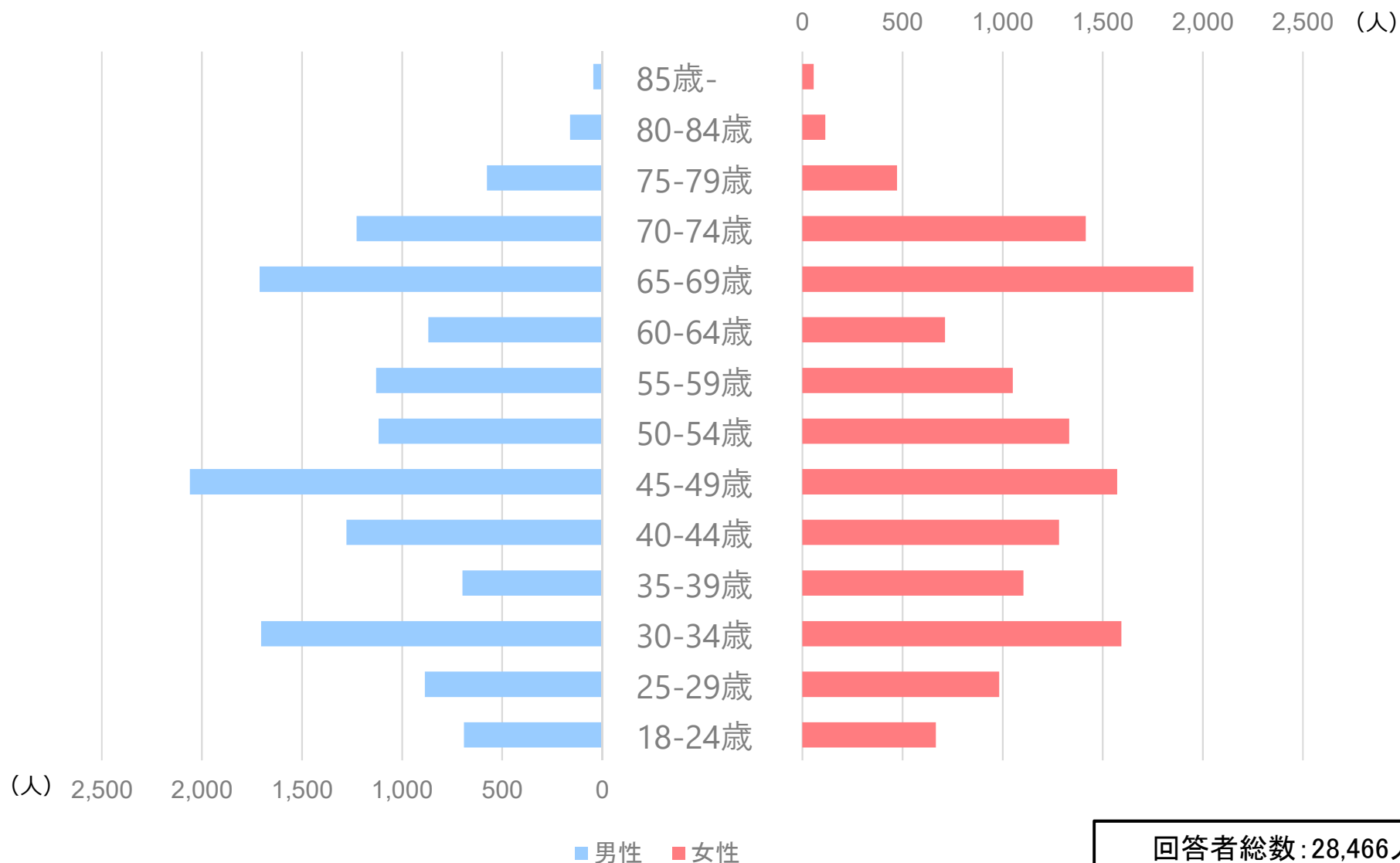
# 1. 関係人口(訪問系)の人口構成

○ 関係人口(訪問系)は、アンケート回答者全体の人口構成に概ね準じているが、若年層の女性と高齢者の男性の割合が比較的高くなっている。



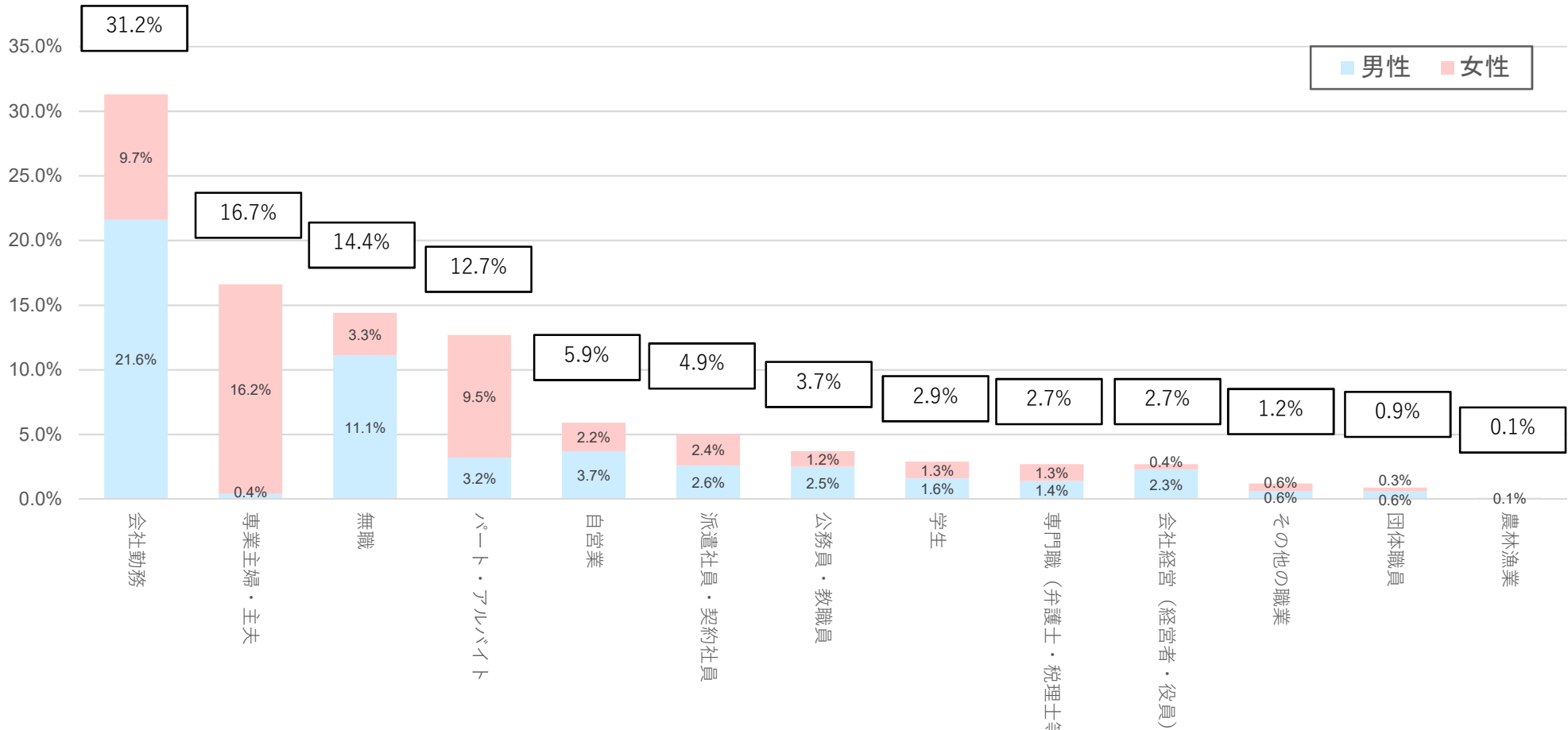
(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施) (三大都市圏の関係人口)

## 2. (参考) アンケート回答者全体の人口構成



# 3. 三大都市圏の関係人口(訪問系)の職業

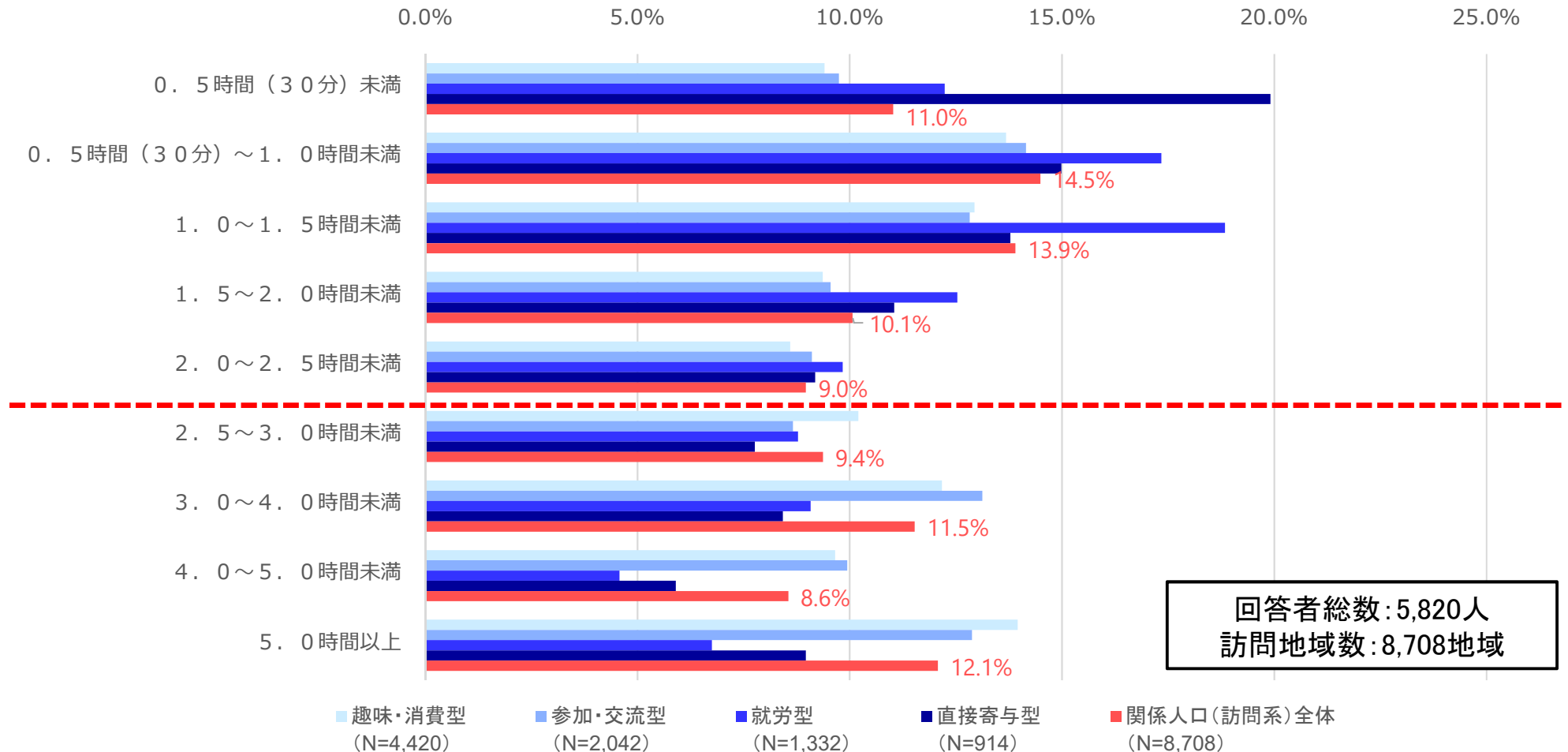
- 関係人口(訪問系)のうち、約3割が会社勤務となっている。
- また、約2割の人が専業主婦・主夫となっている。



回答者総数: 5,820人

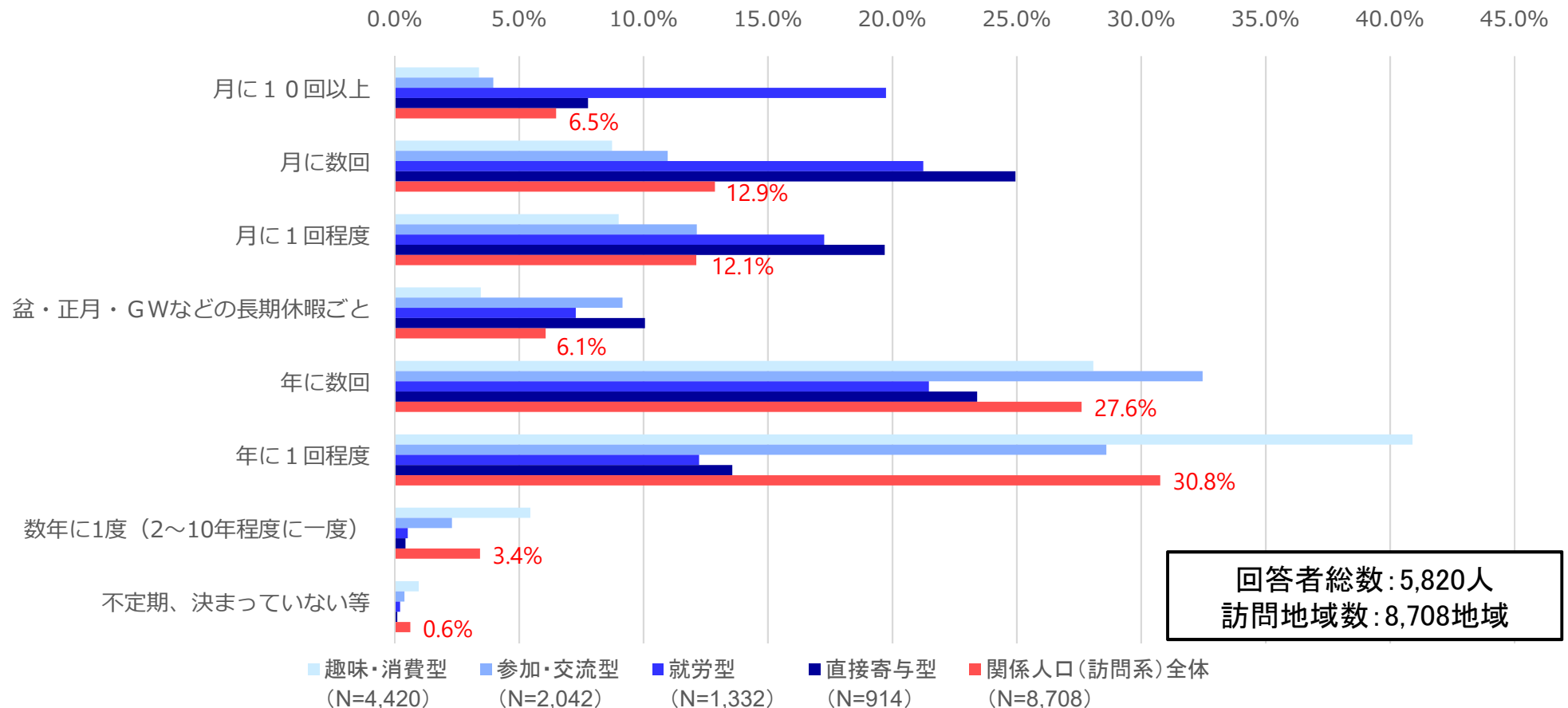
# 4. 関係人口(訪問系)の訪問先への移動時間

- 関係人口(訪問系)の訪問先への移動時間は、約6割の人が2時間30分未満となっている一方、5時間以上の人約1割存在するなど、長時間の移動を行っている人が一定程度存在する。
- “直接寄与型”は短時間の移動が比較的多い傾向。



# 5. 関係人口(訪問系)の関係先への訪問頻度

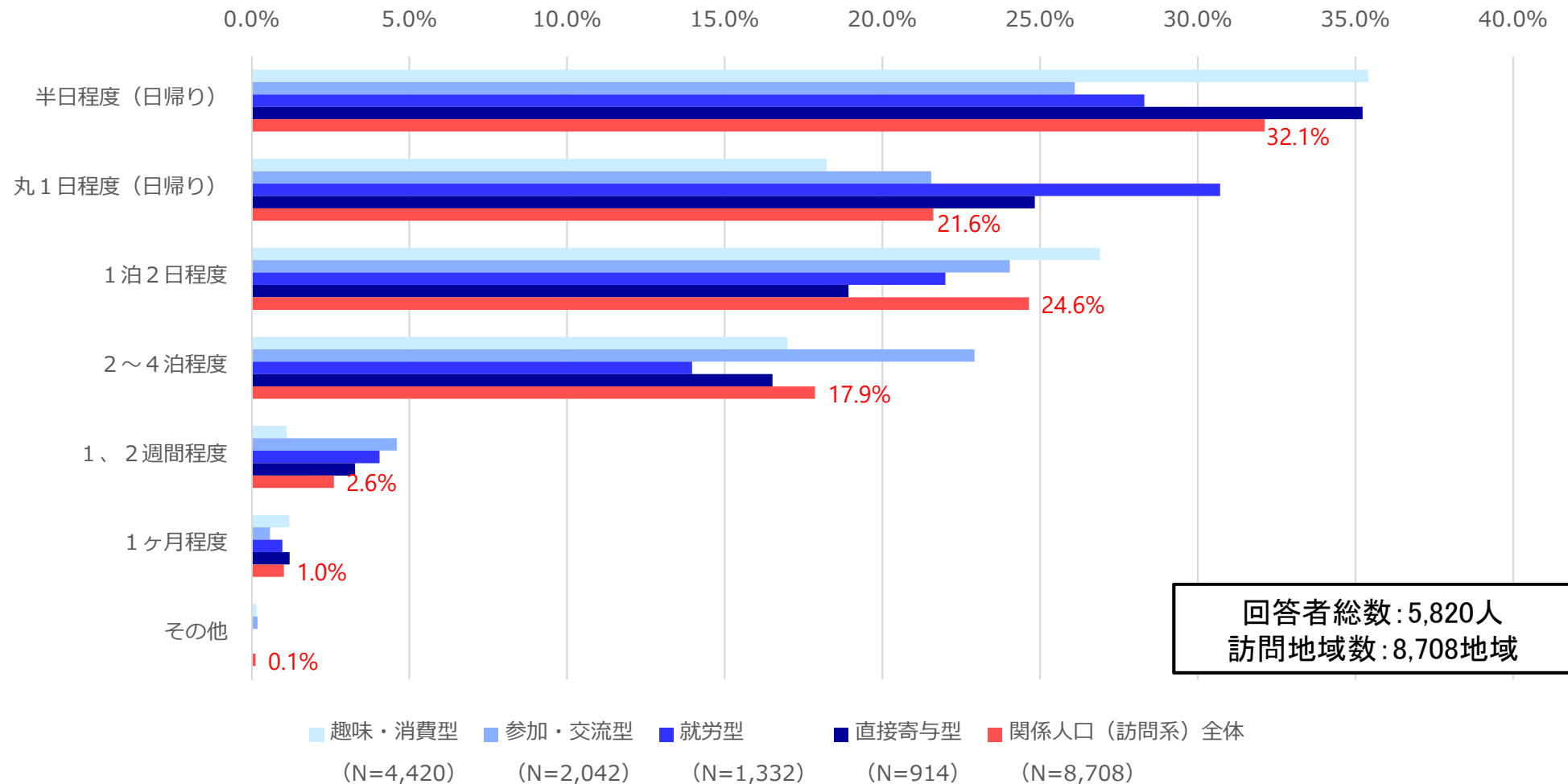
- 関係人口（訪問系）での関係先への訪問頻度は、年に数回及び年に1回程度の人が過半を占めているものの、月に10回以上や数回の人がある程度存在している。
- 就労型は、“月に10回以上”訪問している者が20%程度存在している等、高頻度で訪問している人が多数存在。
- 直接寄与型についても、“月に数回”訪問している人が25%程度占めており、比較的高頻度で訪問している。
- 趣味・消費型及び参加・交流型は、年に1回程度又は数回程度の訪問回数である人が大半を占めている。





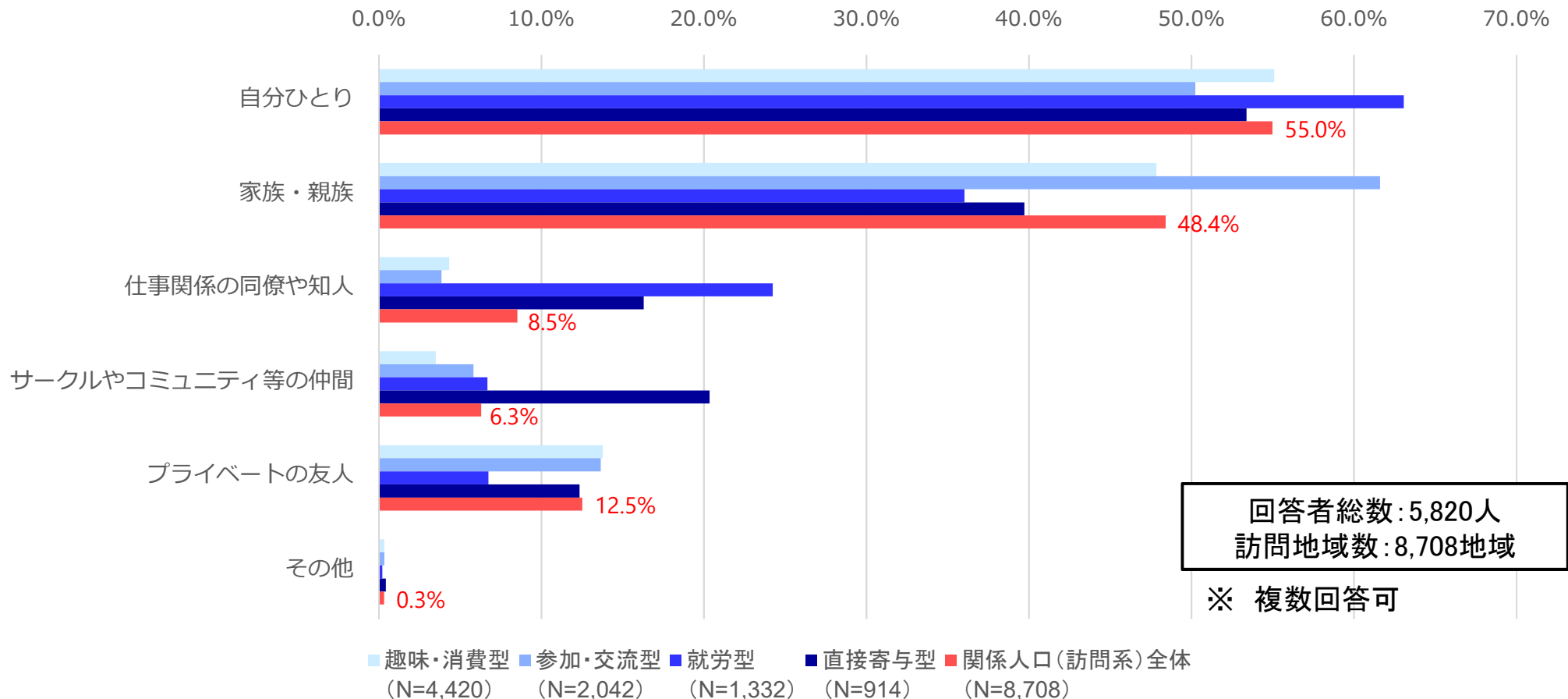
# 6. 関係人口(訪問系)の関係先での滞在期間

- 関係人口(訪問系)全体においては、約半数の者は日帰りであり、宿泊する場合も4泊程度までの人が大半を占めている。
- 大分類ごとの1回当たりの滞在期間については、有意な差は無い。



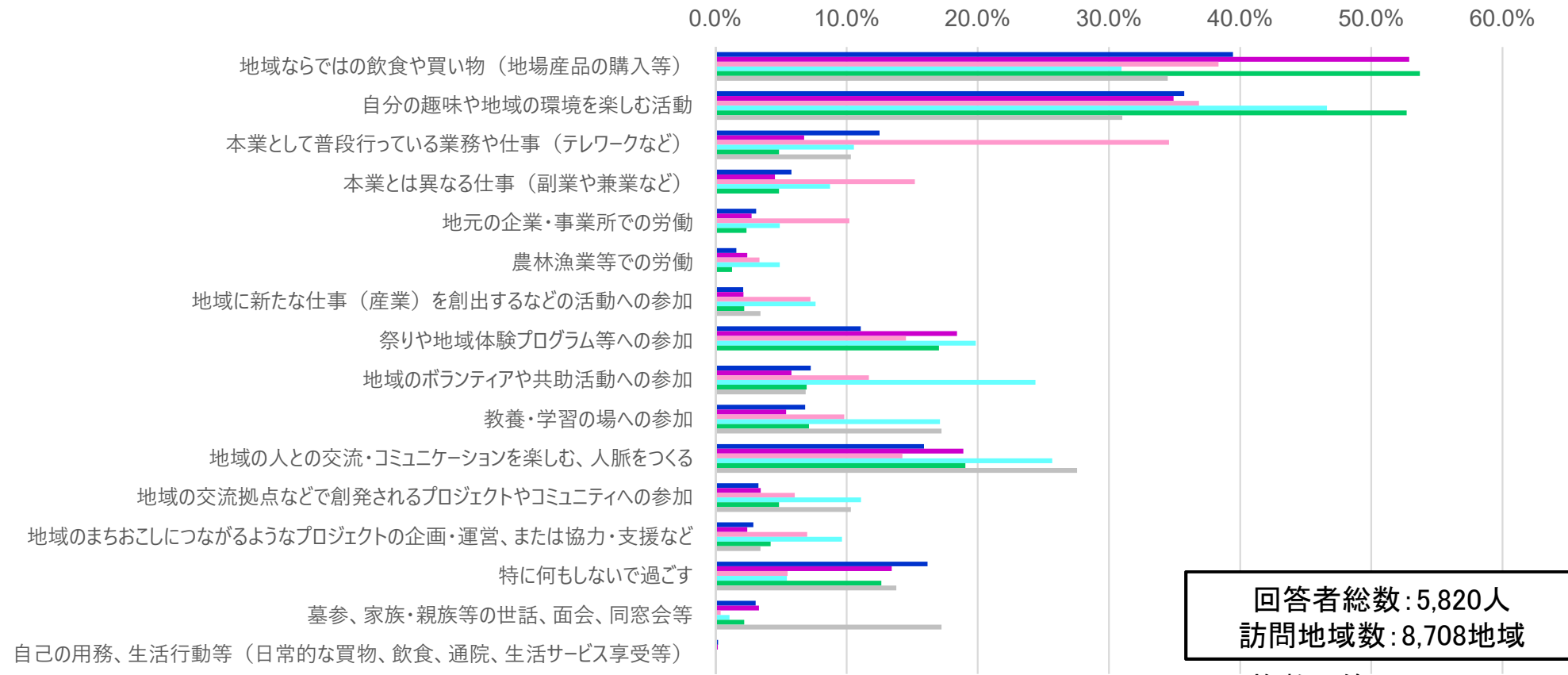
# 7. 関係人口(訪問系)の関係先への同行者

- 関係人口(訪問系)全体では、地域に関わる際、自分ひとりで訪問する機会が多い一方、家族・親族等同行者を伴う場合が半数を超えており、関係人口が関係人口を創り出す可能性を秘めていることを示唆。
- また、どの大分類においても、“自分ひとり”又は“家族・親族”を訪問先への同行者とする人が大半を占めているが、就労型は、“仕事関係の同僚や知人”を同行者とする人が比較的多く、直接寄与型は、“サークルやコミュニティ等の仲間”を同行者とする人が比較的多い。



# 8. 関係人口の同行者別の地域との関わり方

○ サークルやコミュニティ等の仲間で地域と関わっている人は、地域のボランティアや共助活動に参加する割合が高いなど比較的地域との関わりが深い傾向。



回答者総数：5,820人  
訪問地域数：8,708地域

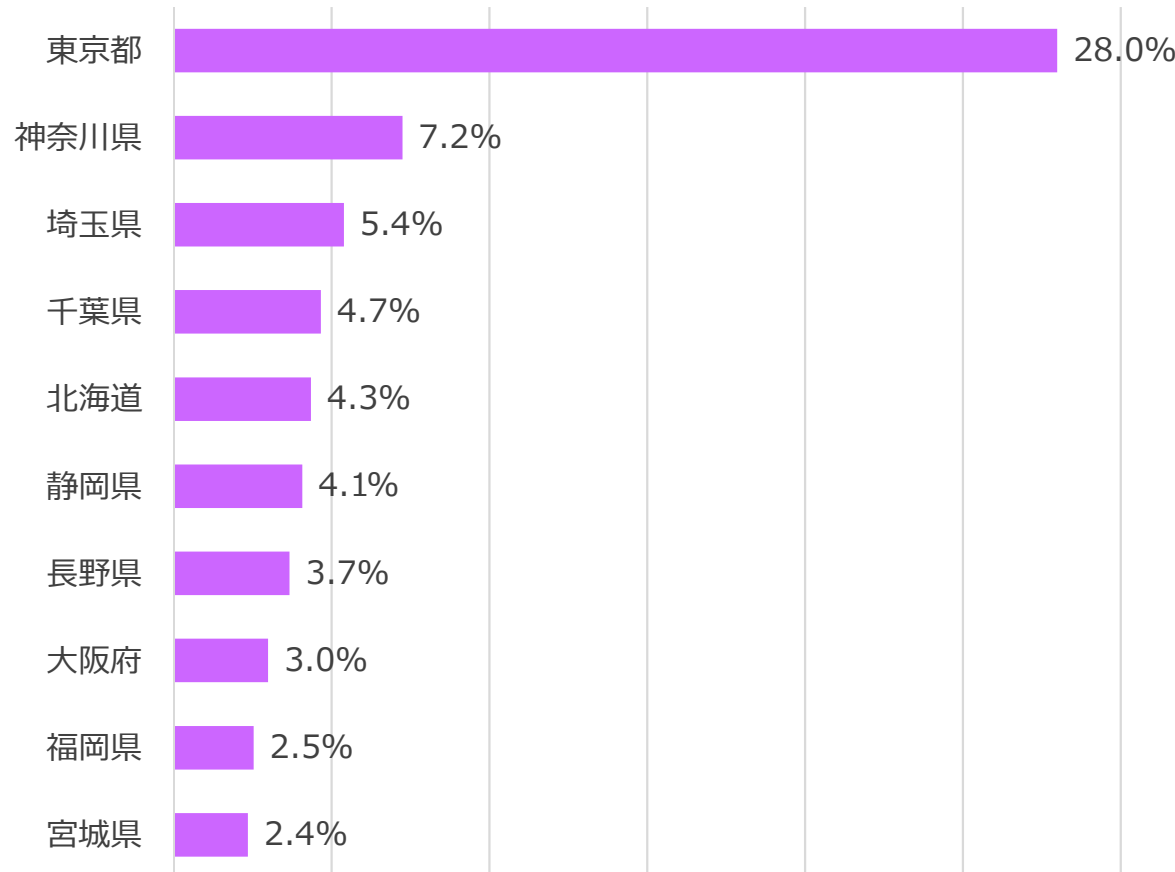
※ 複数回答可

- 自分ひとり (N=4789)
- 家族・親族 (N=4216)
- 仕事関係の同僚や知人 (N=743)
- サークルやコミュニティ等の仲間 (N=549)
- プライベートの友人 (N=1091)
- その他 (N=29)

# 9. 東京都在住の関係人口(訪問系)の関係先

- 東京都に在住している関係人口(訪問系)の関係先については、東京都が1位で約3割を占めており、次いで、神奈川県、埼玉県となっているなど、近隣県が大きな割合を占めている。
- 一方、市町村単位で整理すると、都外では横浜市、札幌市、京都市、大阪市、仙台市、福岡市、名古屋市等の政令指定都市が関係先の上位となっている。

【関係先都道府県(上位10位まで)】

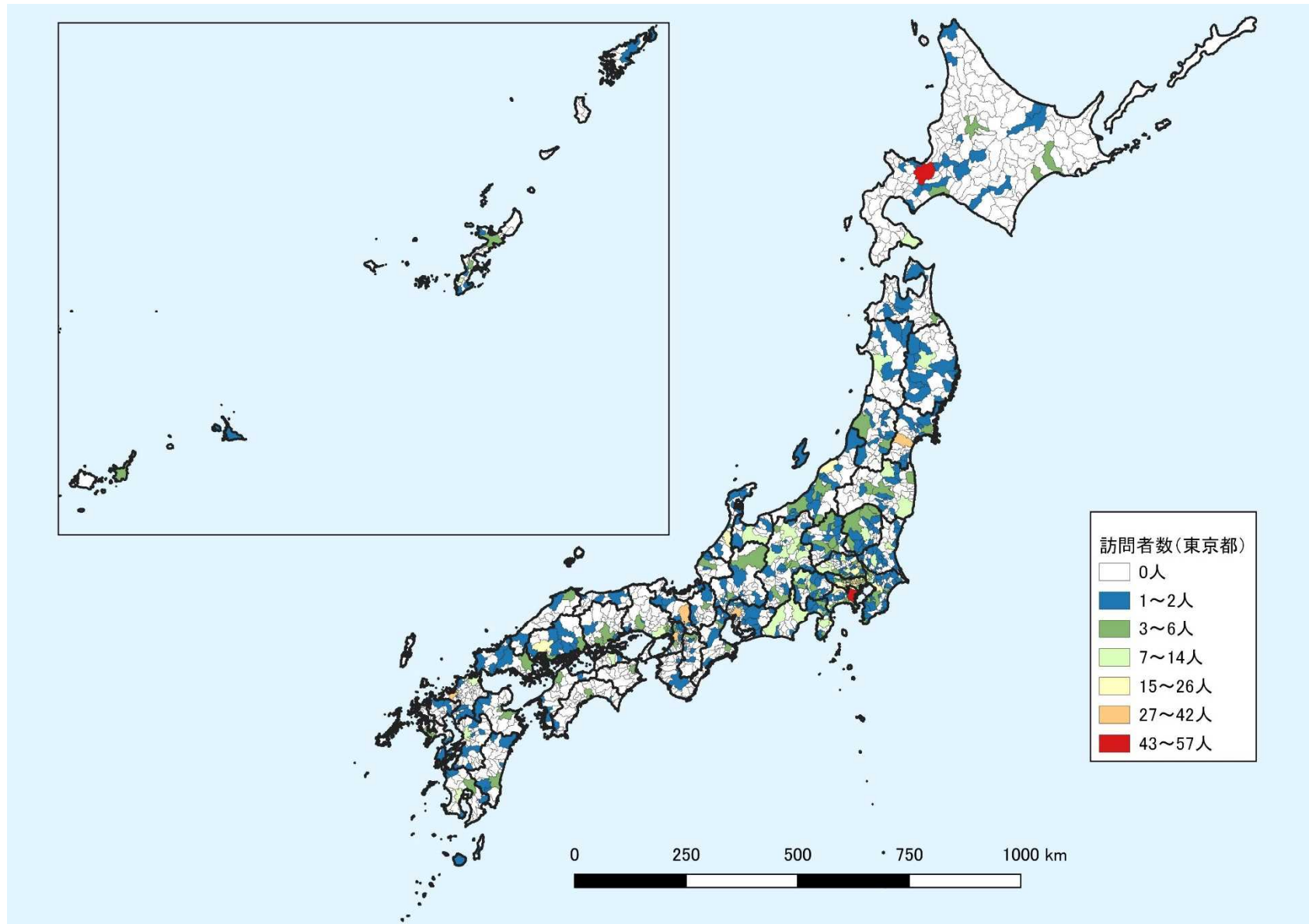


【関係先市町村名(上位10位まで)】

順位	訪問先市町村	訪問者数
1	神奈川県横浜市	57
2	北海道札幌市	53
3	東京都新宿区	42
4	京都府京都市	37
5	大阪府大阪市	35
6	宮城県仙台市	34
7	福岡県福岡市	34
8	東京都杉並区	33
9	愛知県名古屋市	32
10	東京都千代田区	27

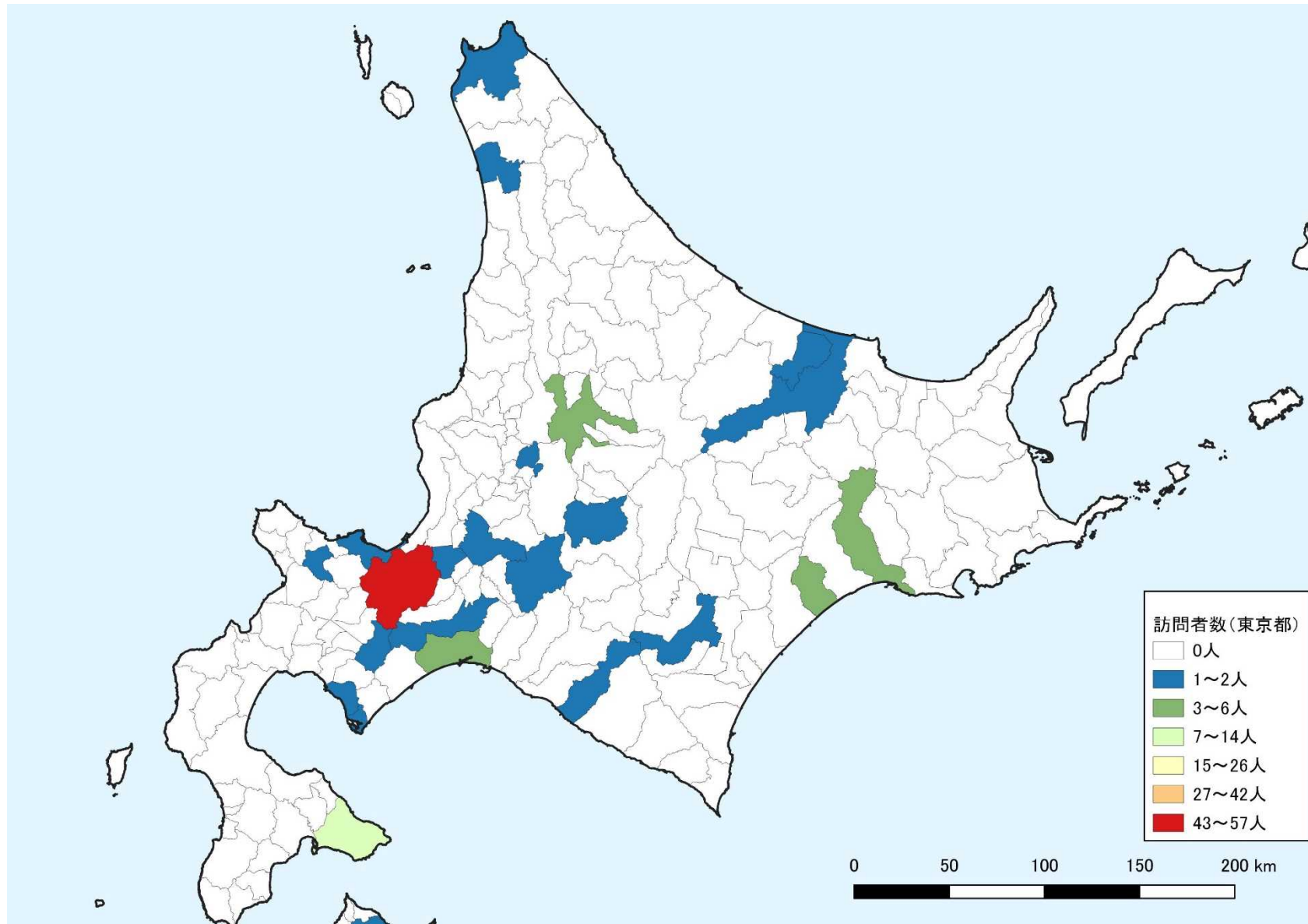
回答者総数: 2,208人

# 10-1. 東京都在住の関係人口(訪問系)の関係先(全国)



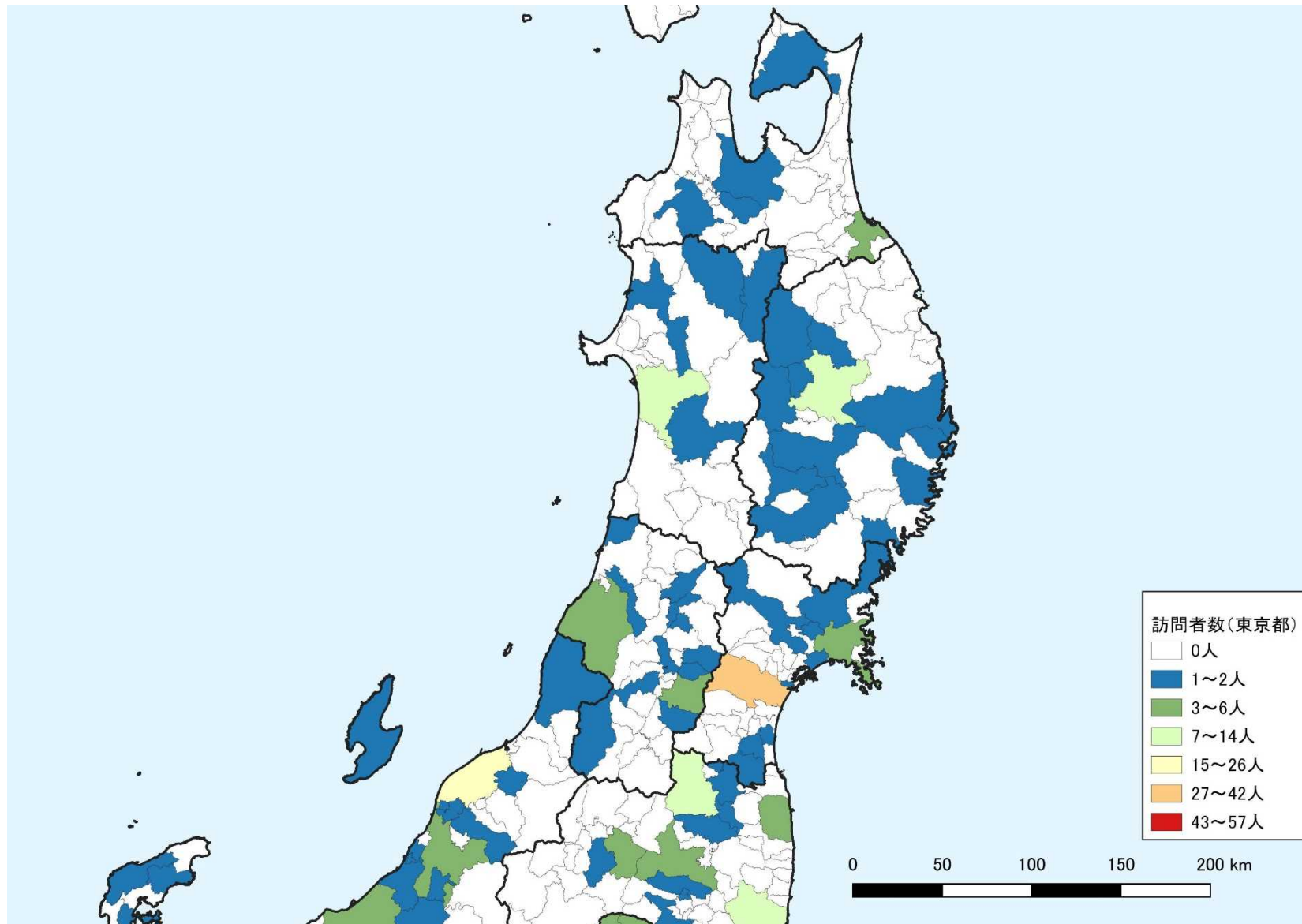
(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施) (三大都市圏の関係人口、訪問地域数ベース)

## 10-2. 東京都在住の関係人口(訪問系)の関係先(北海道)



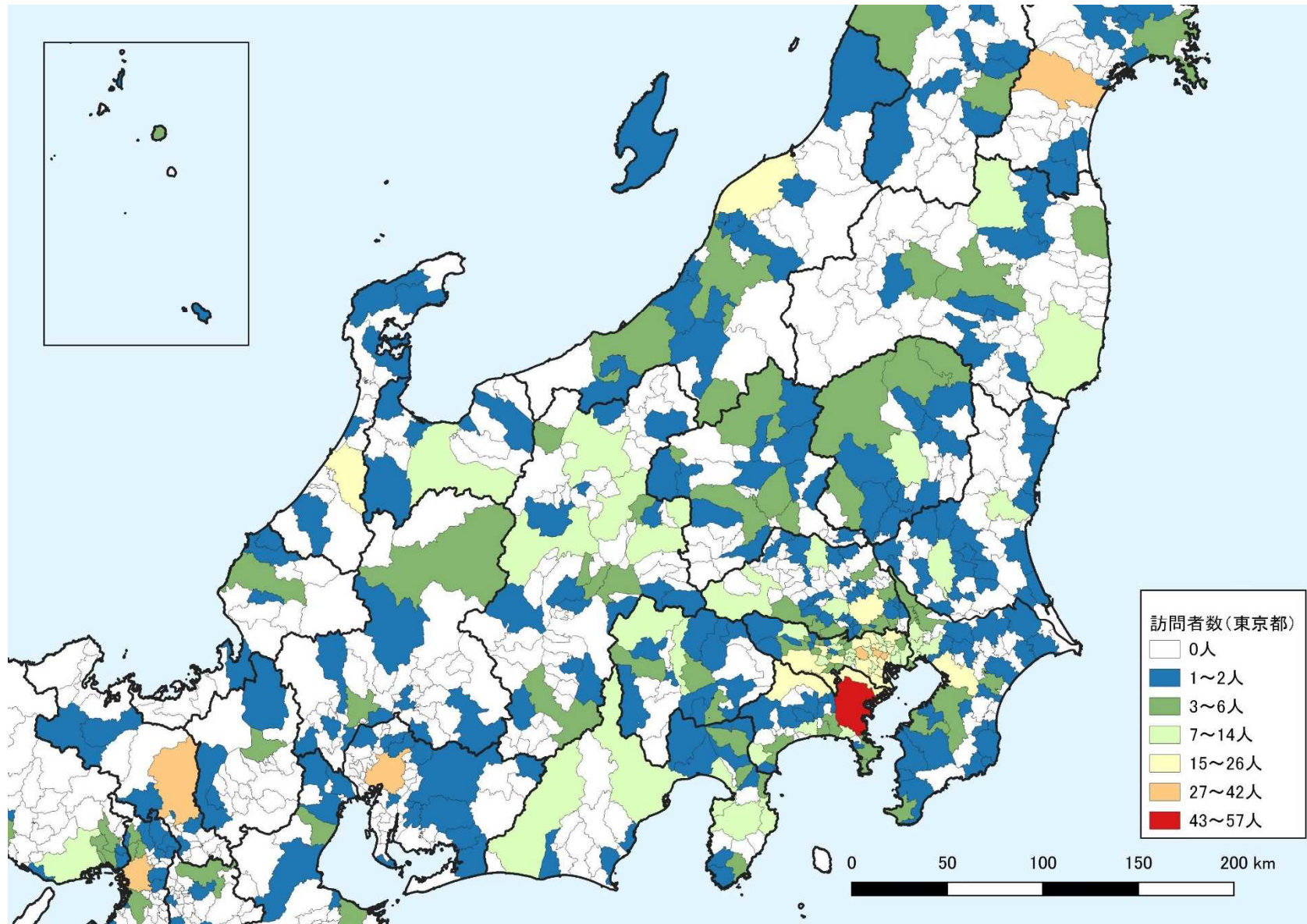
(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施) (三大都市圏の関係人口、訪問地域数ベース)

# 10-3. 東京都在住の関係人口(訪問系)の関係先(東北)



(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施) (三大都市圏の関係人口、訪問地域数ベース)

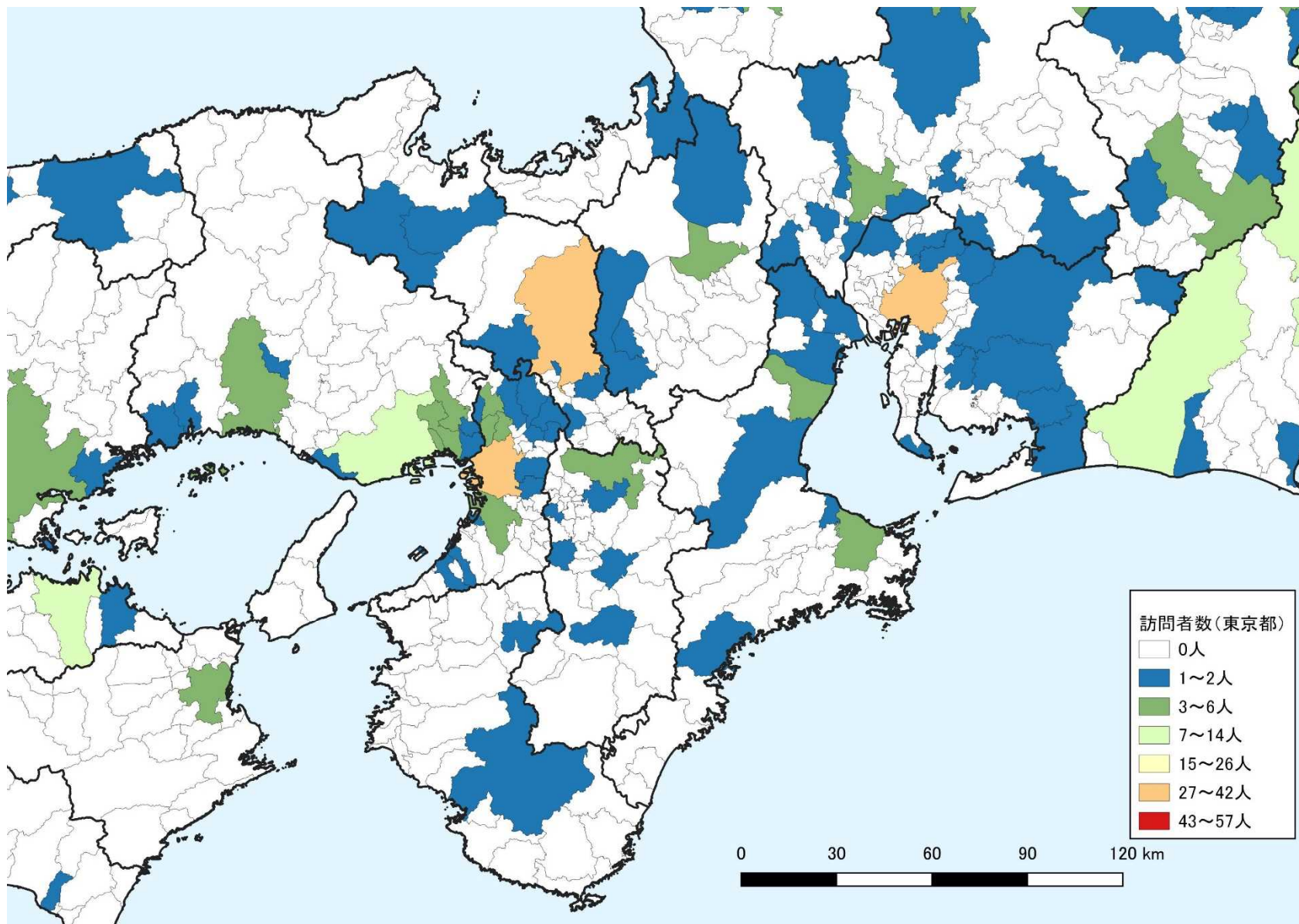
# 10-4. 東京都在住の関係人口(訪問系)の関係先(関東・中部) 国土交通省



(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施) (三大都市圏の関係人口、訪問地域数ベース)

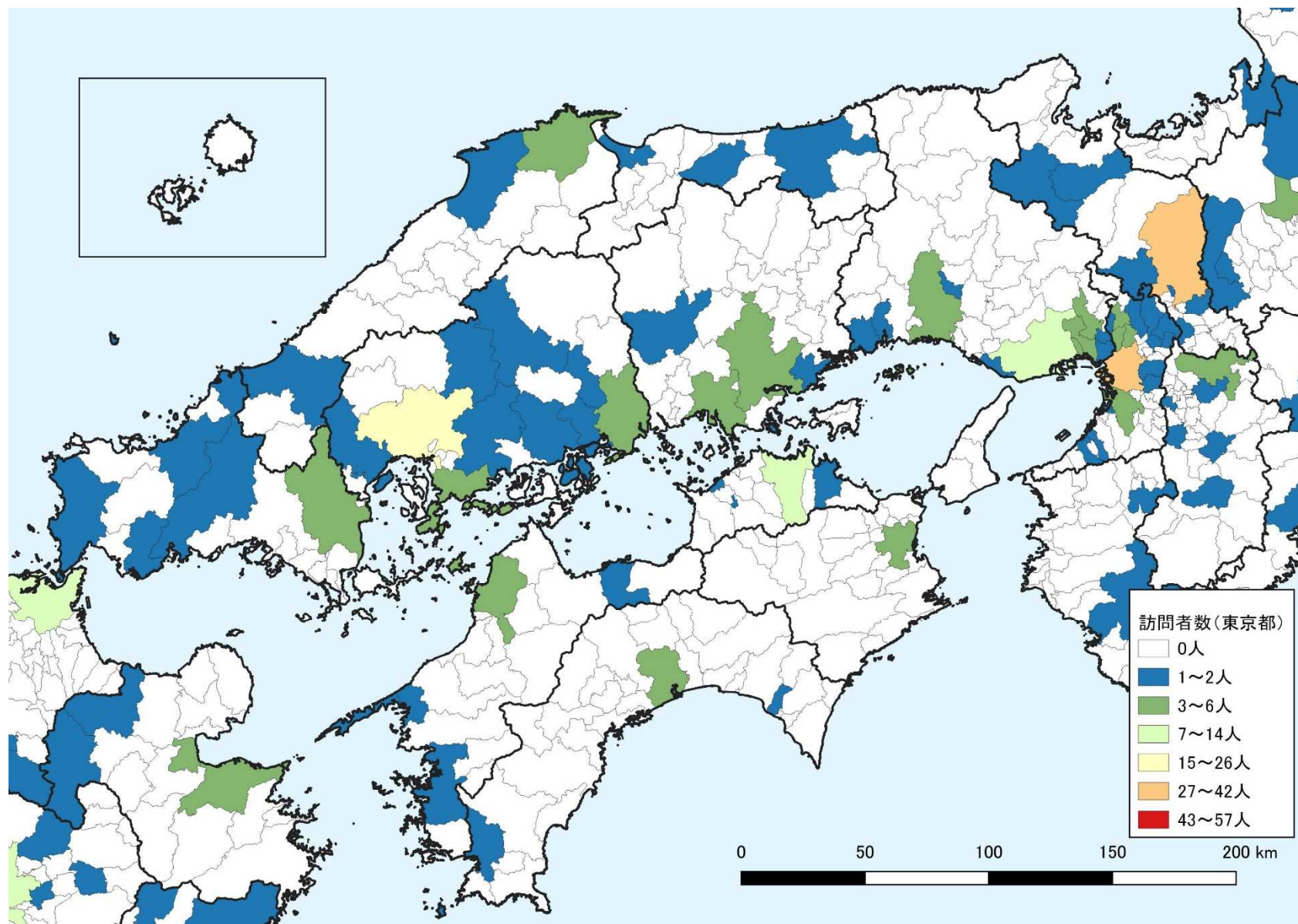


# 10-5. 東京都在住の関係人口(訪問系)の関係先(近畿・東海) 国土交通省



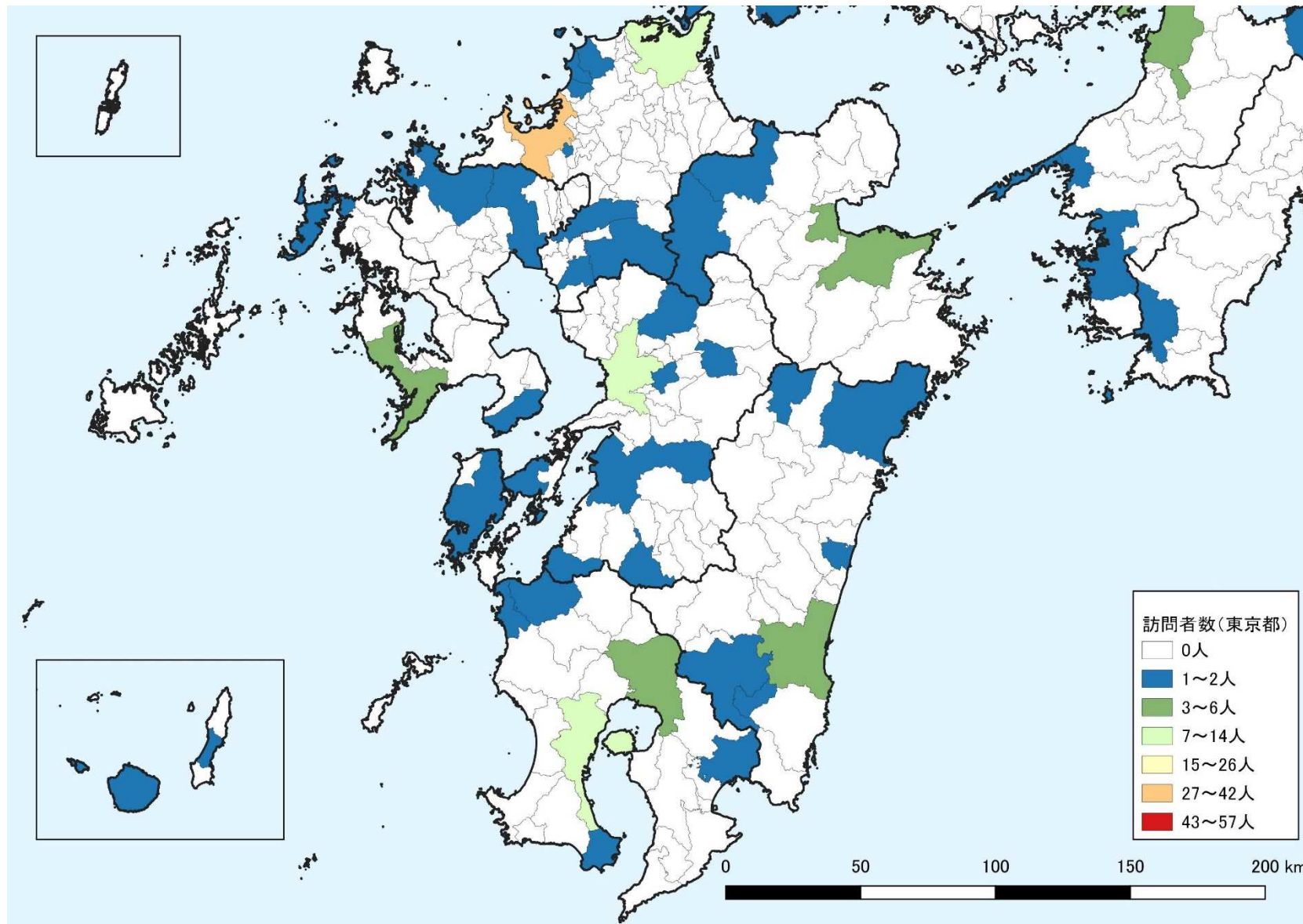
(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施) (三大都市圏の関係人口、訪問地域数ベース)

# 10-6. 東京都在住の関係人口(訪問系)の関係先(中国・四国) 国土交通省



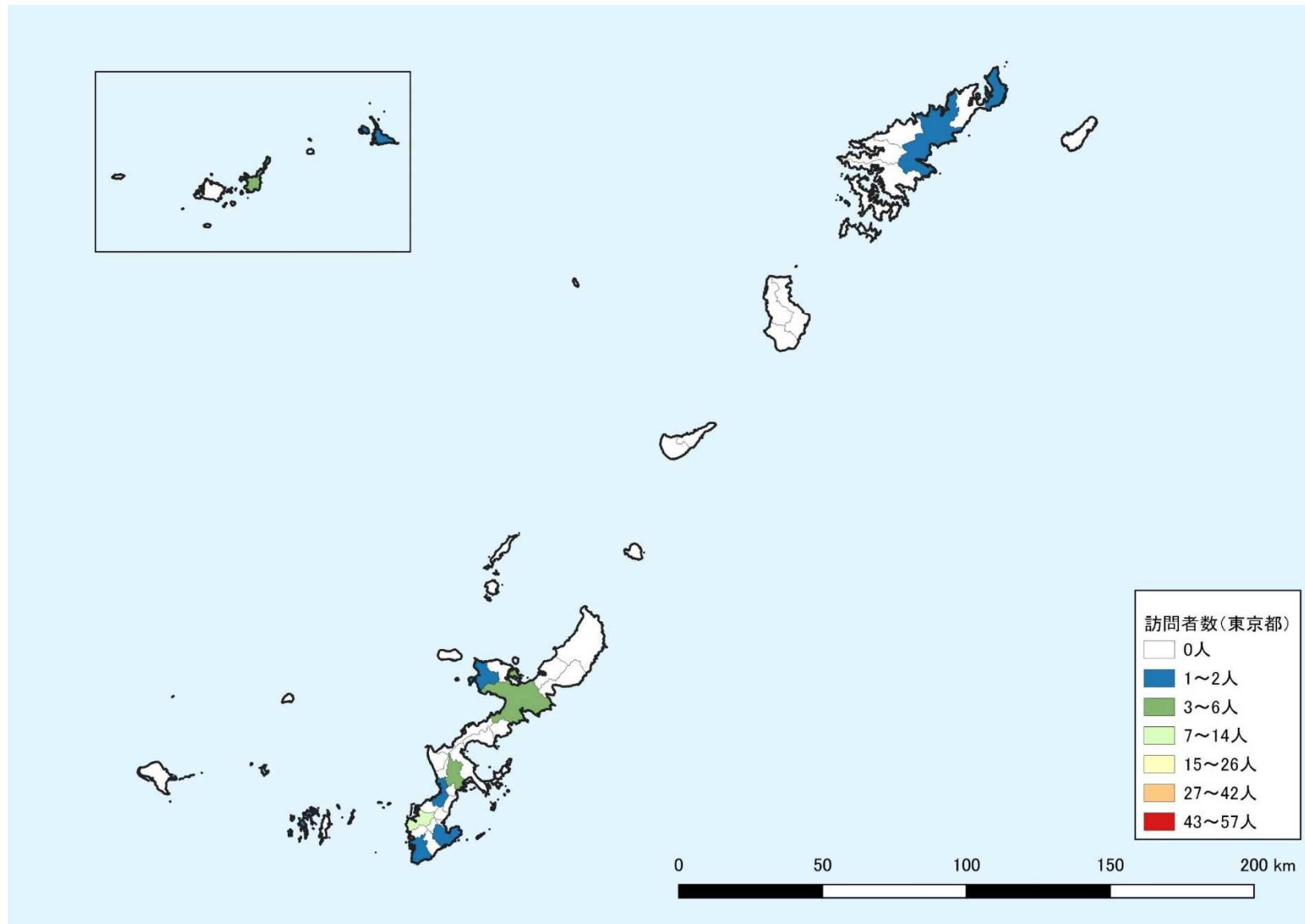
(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施) (三大都市圏の関係人口、訪問地域数ベース)

# 10-7. 東京都在住の関係人口(訪問系)の関係先(九州)



(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施) (三大都市圏の関係人口、訪問地域数ベース)

# 10-8. 東京都在住の関係人口(訪問系)の関係先(沖縄・奄美) 国土交通省

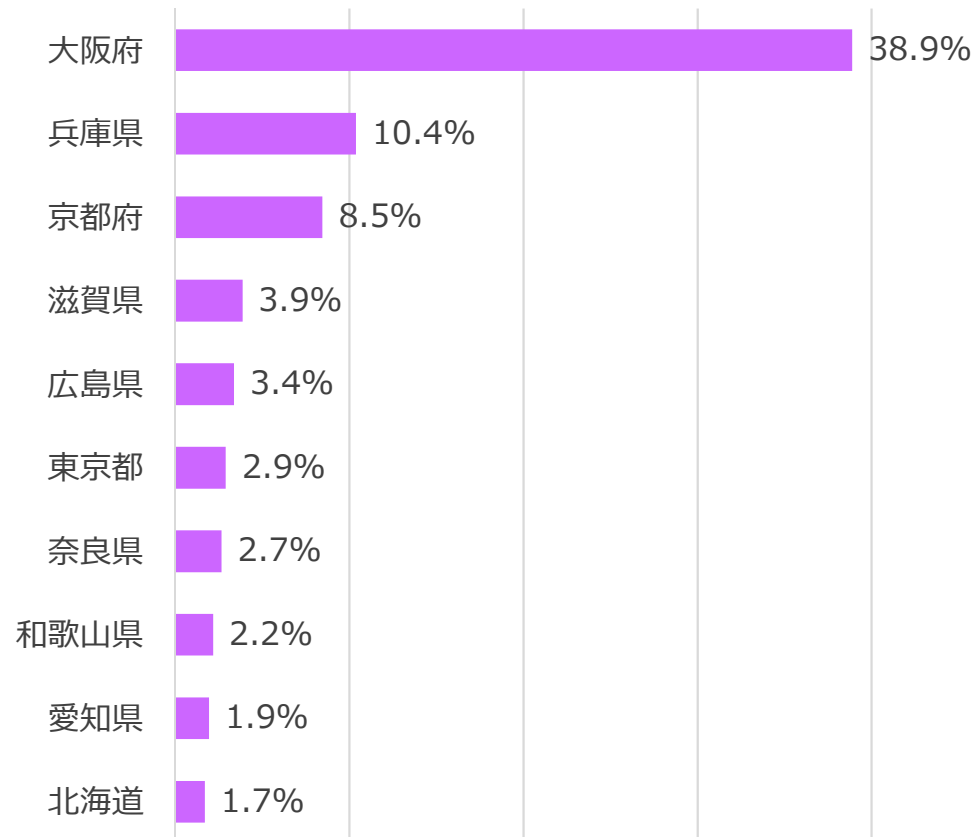


(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施) (三大都市圏の関係人口、訪問地域数ベース)

# 11. 大阪市在住の関係人口(訪問系)の関係先

- 大阪市に在住している関係人口(訪問系)の関係先については、大阪府が1位で約4割を占めており、次いで、兵庫県、京都府となっているなど、近隣県が大きな割合を占めている。
- 一方、市町村単位で整理すると、大阪市をはじめ府内の都市、府外では京都市、神戸市、広島市、横浜市、名古屋市等の政令指定都市や近畿圏内の県庁所在地が関係先の上位となっている。

【関係先都道府県(上位10位まで)】

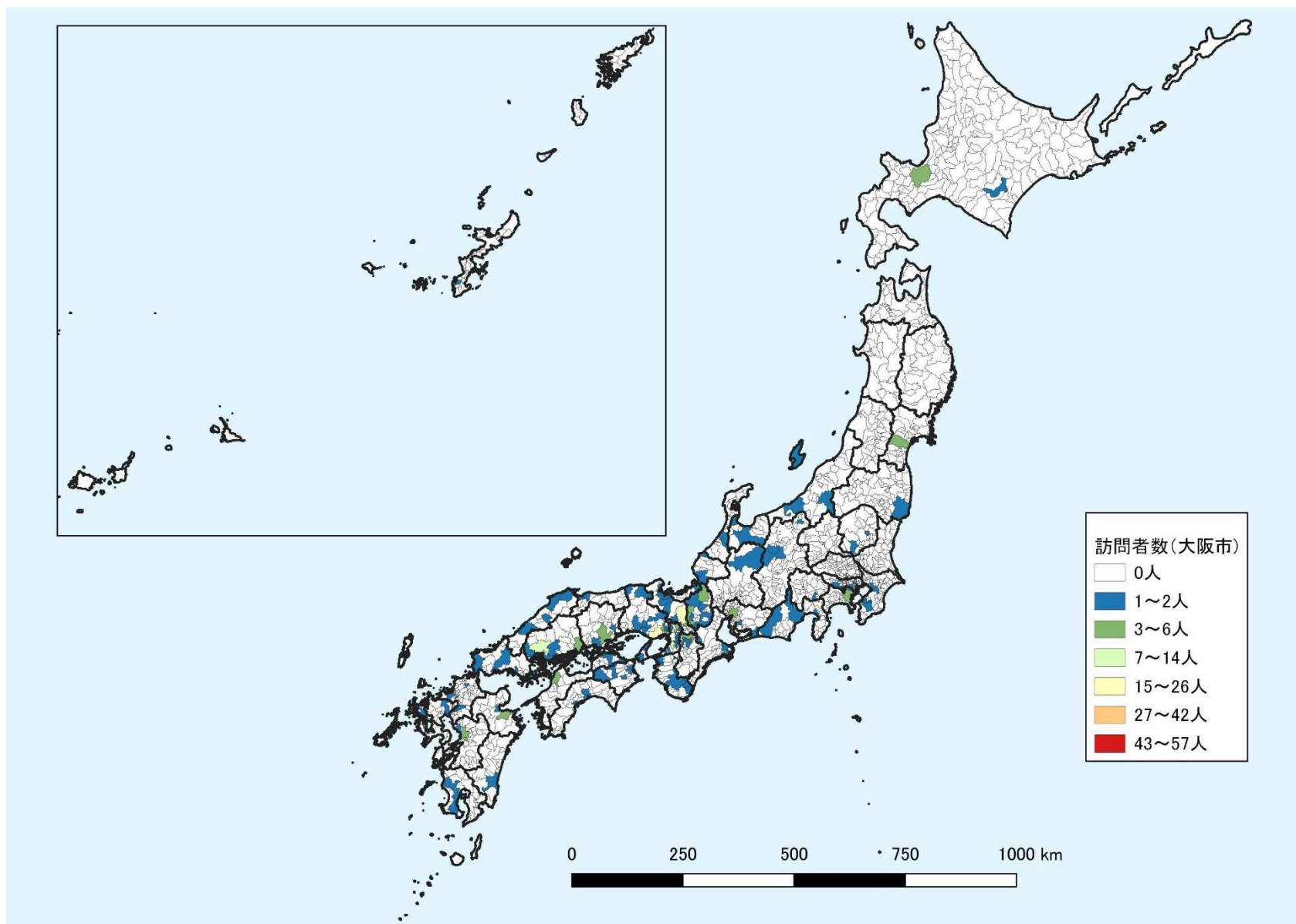


【関係先市町村名(上位10位まで)】

順位	訪問先市町村	訪問者数
1	大阪府大阪市	106
2	京都府京都市	24
3	兵庫県神戸市	18
4	大阪府堺市	10
5	広島県広島市	8
6	大阪府吹田市	7
7	滋賀県大津市	6
8	大阪府高槻市	6
9	神奈川県横浜市	5
10	愛知県名古屋市	5

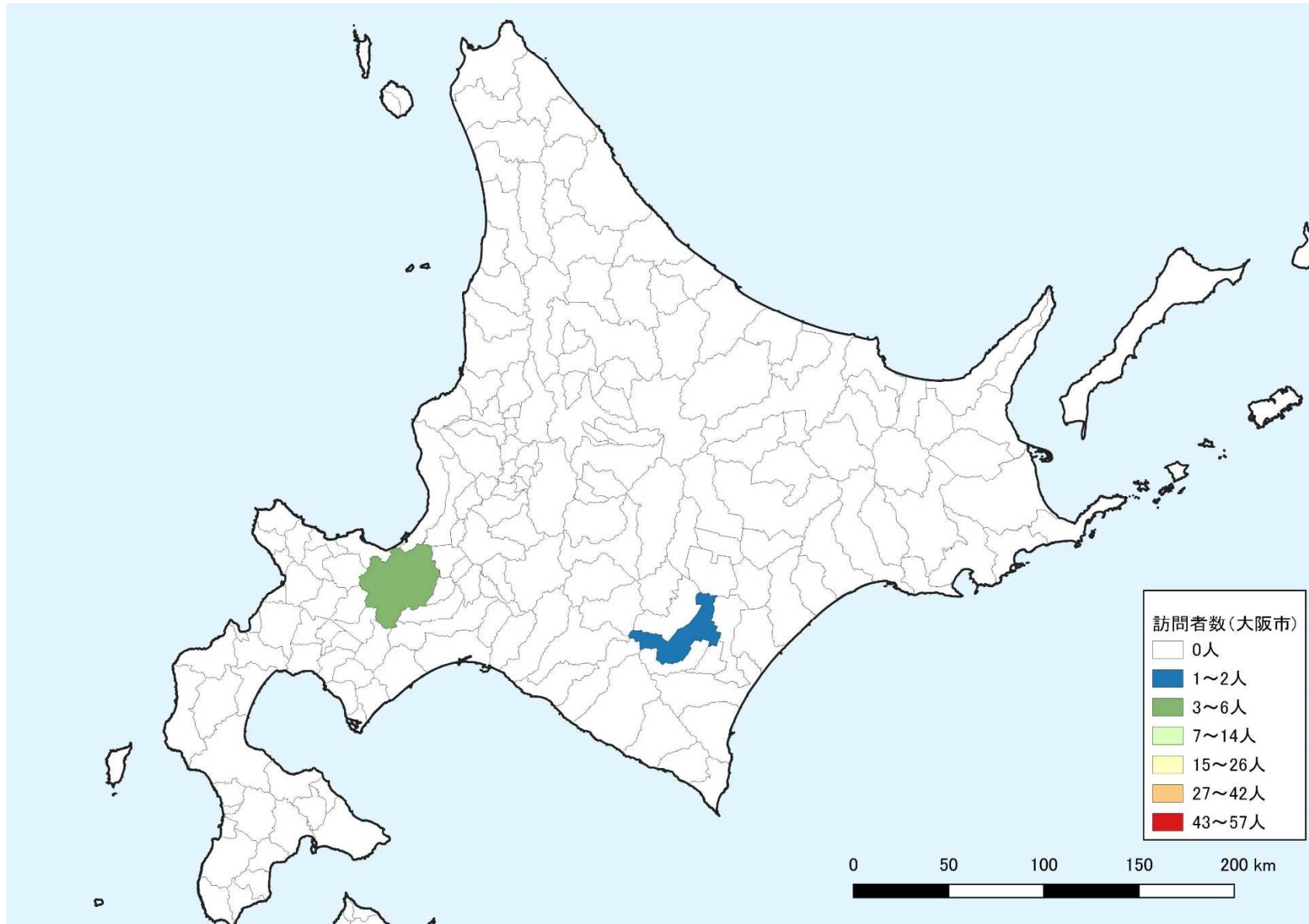
回答者総数:414人

# 12-1. 大阪市在住の関係人口(訪問系)の関係先(全国)



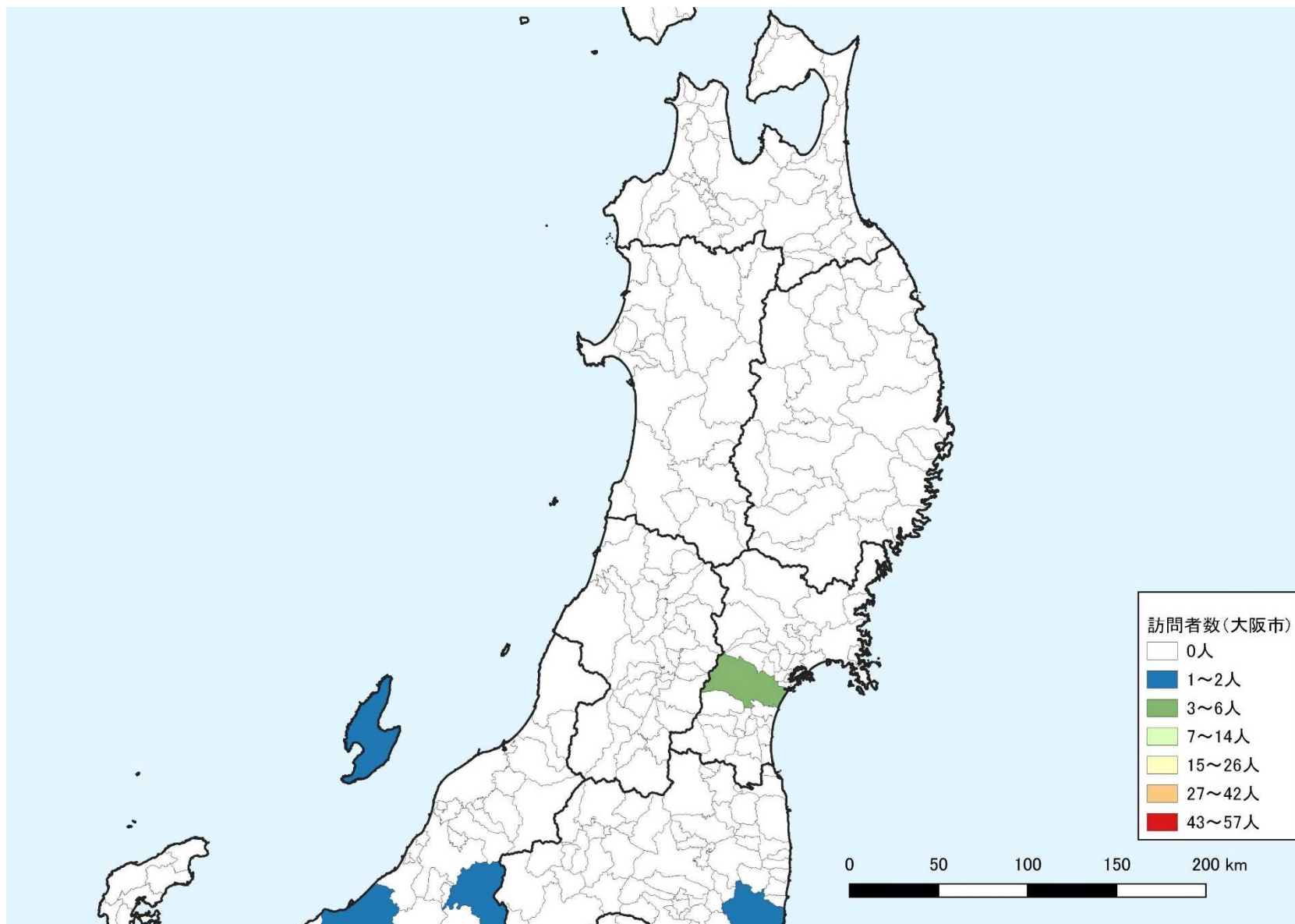
(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施) (三大都市圏の関係人口、訪問地域数ベース)

## 12-2. 大阪市在住の関係人口(訪問系)の関係先(北海道)



(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施) (三大都市圏の関係人口、訪問地域数ベース)

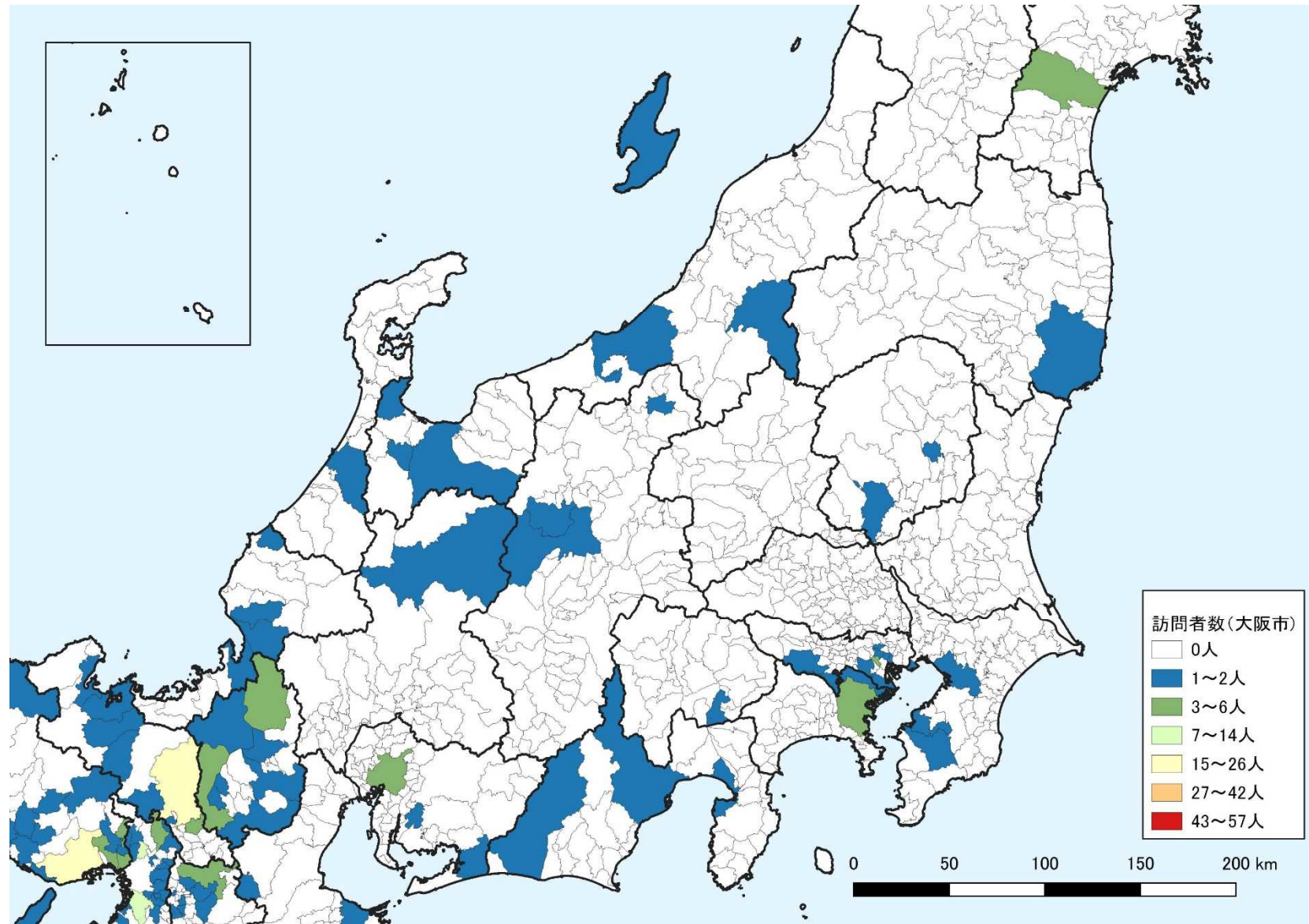
## 12-3. 大阪市在住の関係人口(訪問系)の関係先(東北)



(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施) (三大都市圏の関係人口、訪問地域数ベース)

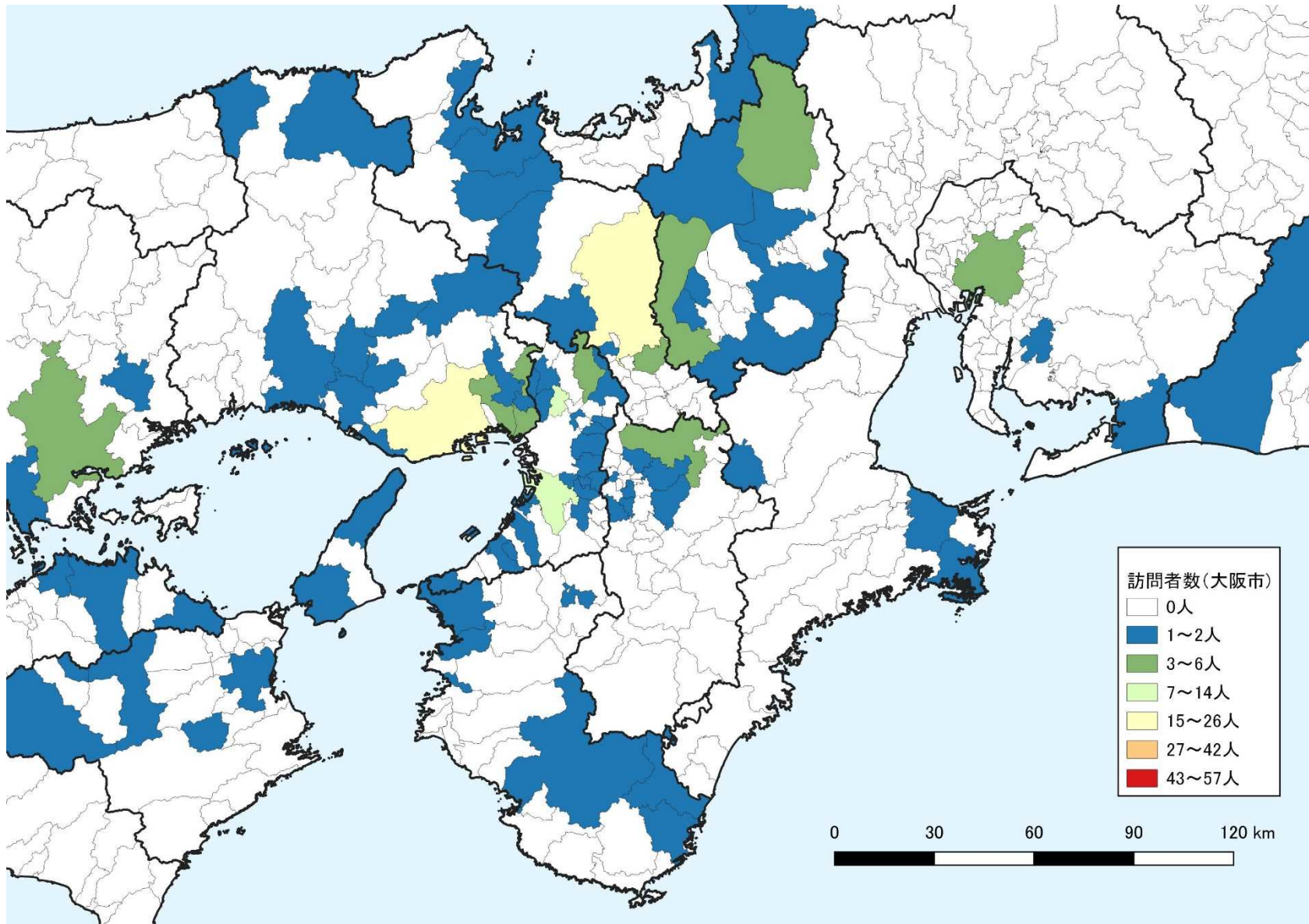


## 12-4. 大阪市在住の関係人口(訪問系)の関係先(関東・中部) 国土交通省



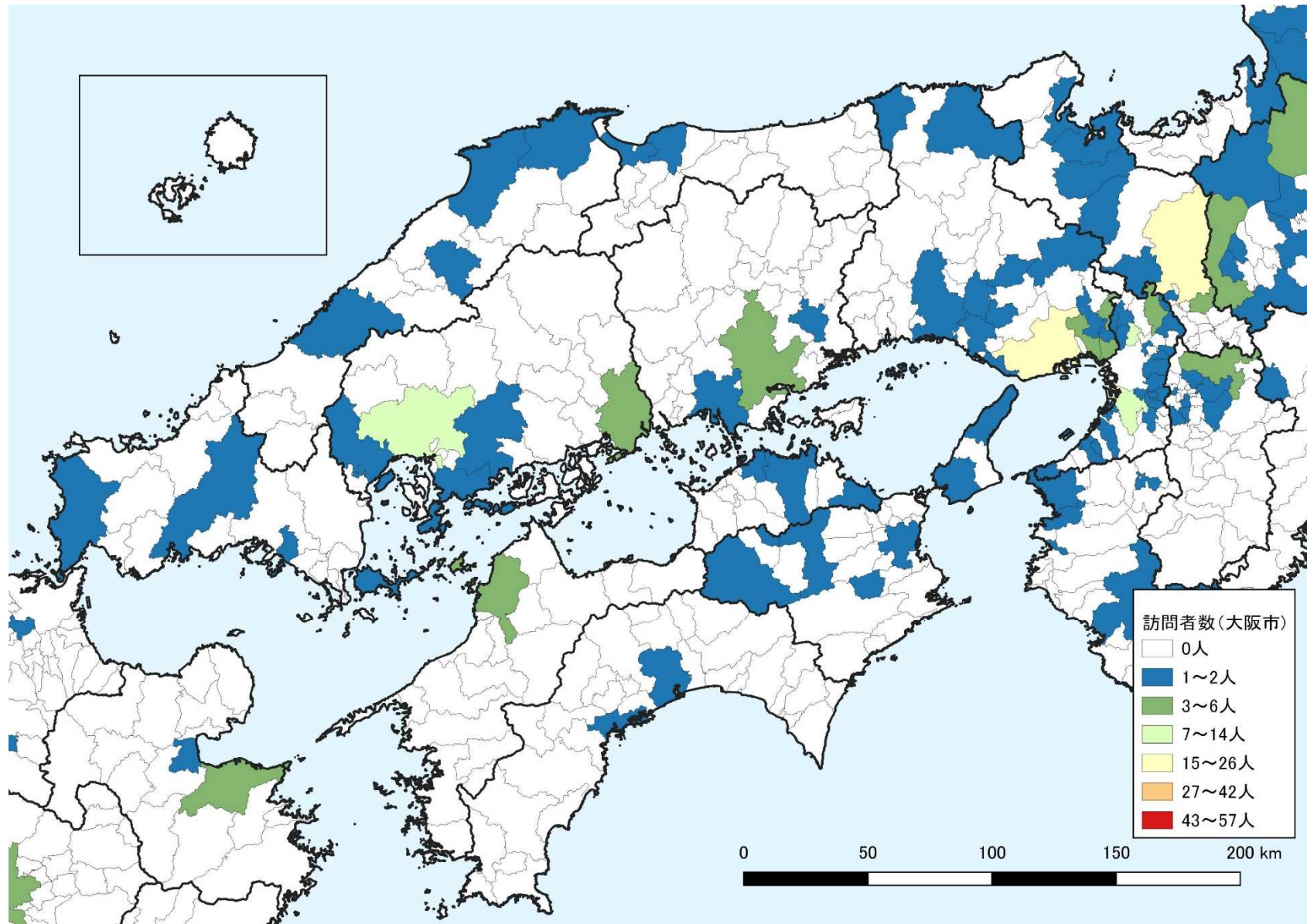
(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施) (三大都市圏の関係人口、訪問地域数ベース)

## 12-5. 大阪市在住の関係人口(訪問系)の関係先(近畿・東海) 国土交通省



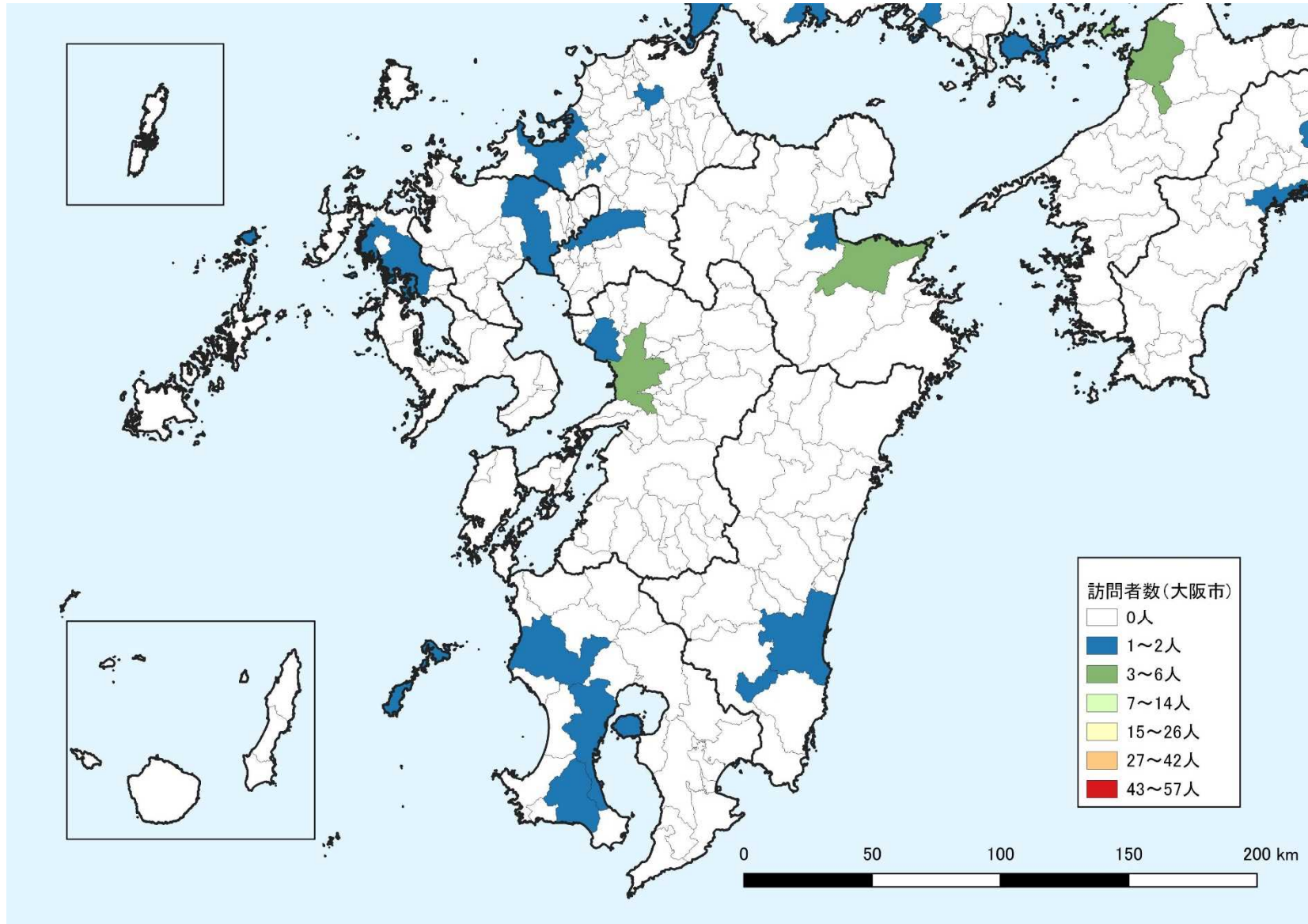
(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施) (三大都市圏の関係人口、訪問地域数ベース)

## 12-6. 大阪市在住の関係人口(訪問系)の関係先(中国・四国) 国土交通省



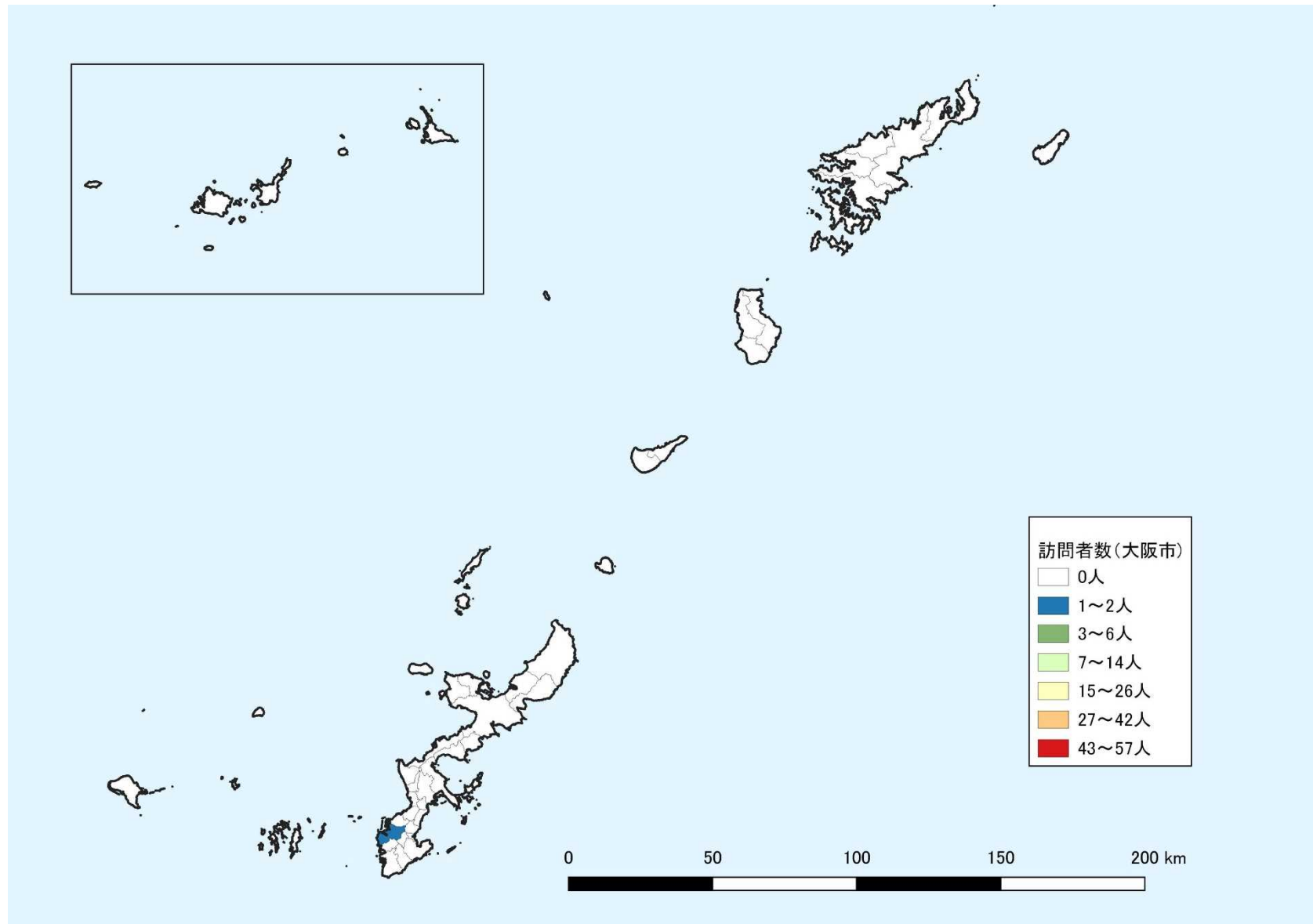
(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施) (三大都市圏の関係人口、訪問地域数ベース)

## 12-7. 大阪市在住の関係人口(訪問系)の関係先(九州)



(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施) (三大都市圏の関係人口、訪問地域数ベース)

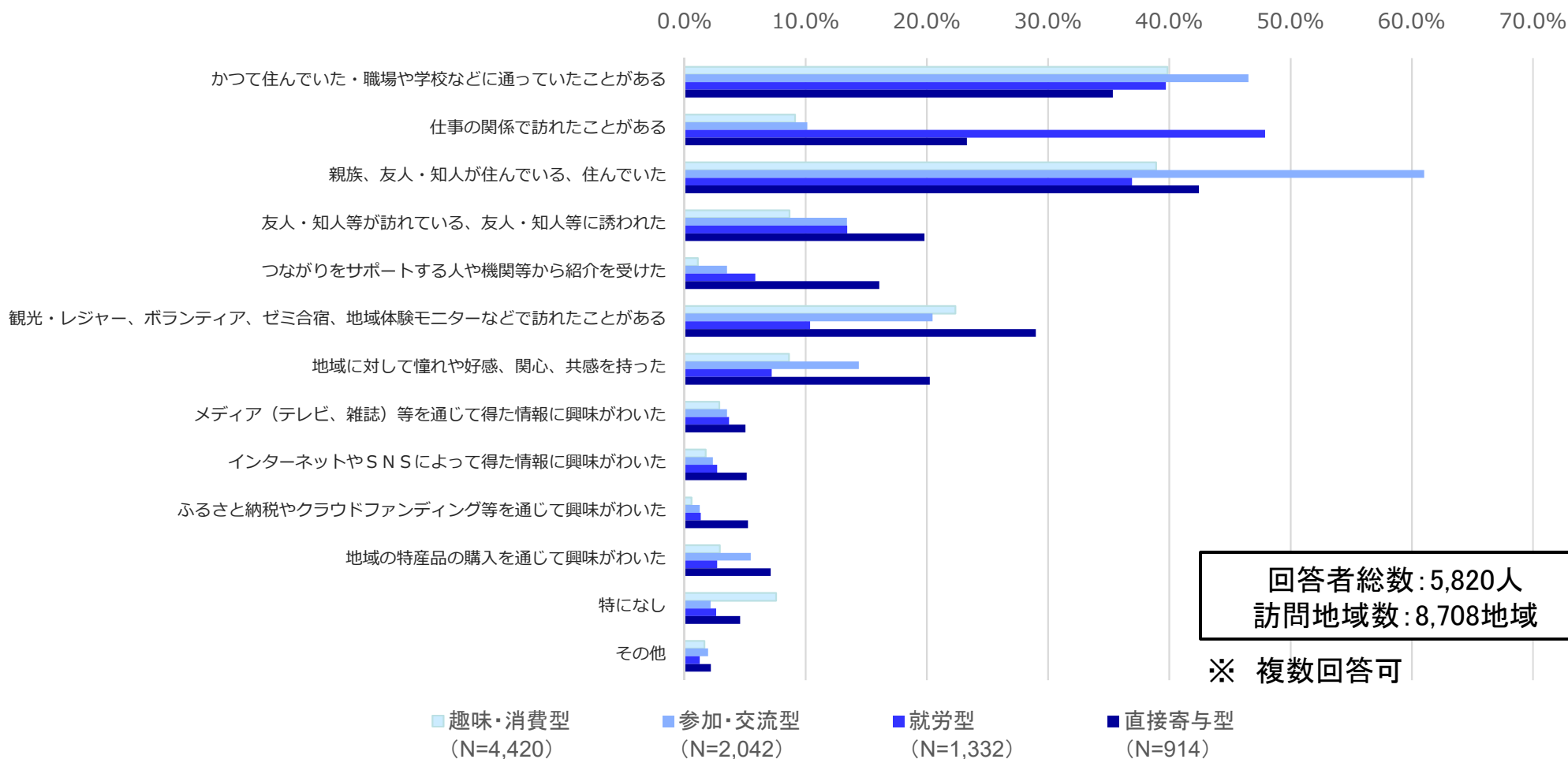
## 12-8. 大阪市在住の関係人口(訪問系)の関係先(沖縄・奄美) 国土交通省



(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施) (三大都市圏の関係人口、訪問地域数ベース)

# 13. 関係人口(訪問系)が地域を訪れたきっかけ

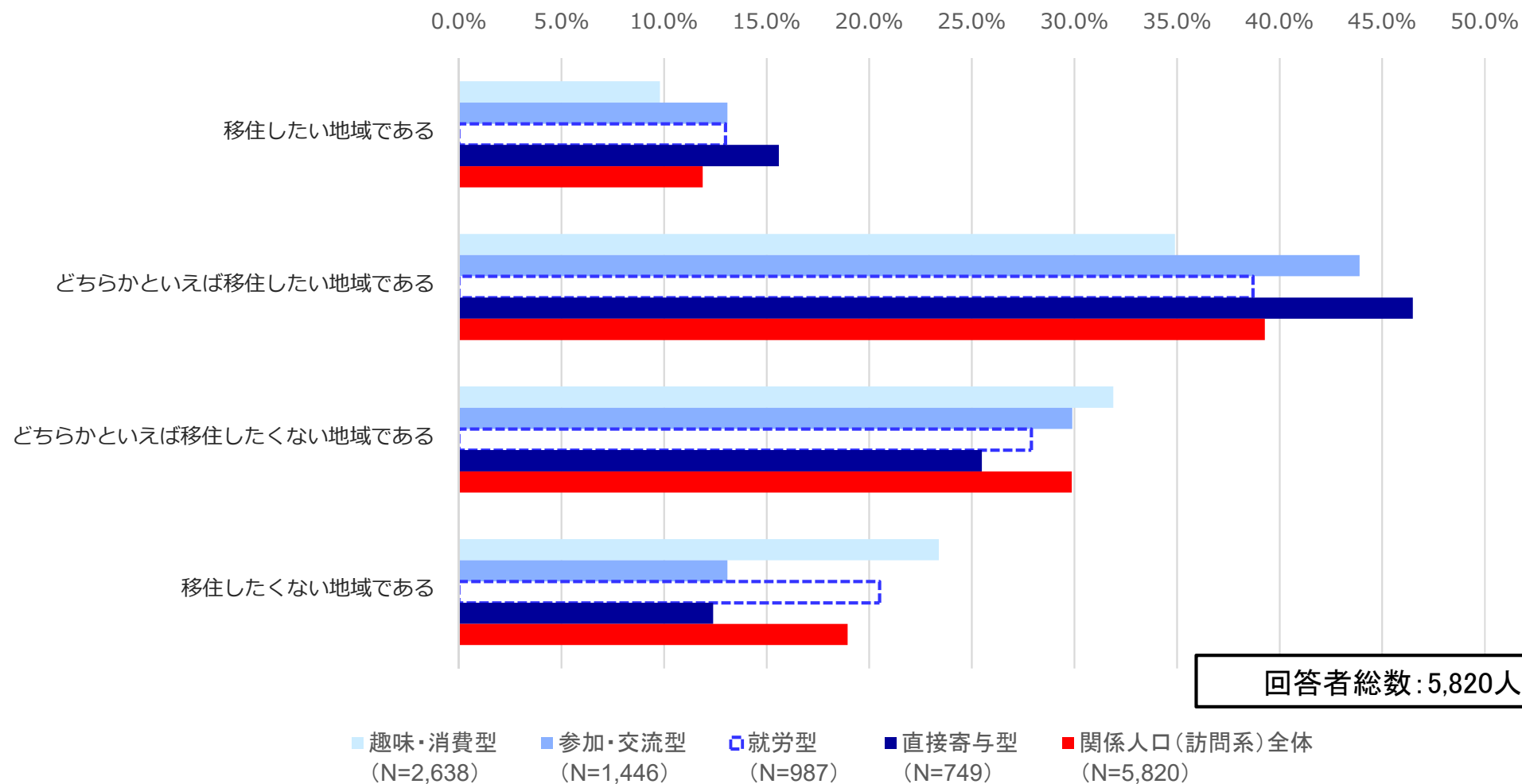
- どの大分類においても、かつて住んでいた・職場や学校などに通っていたことがある等、地縁・血縁等の所縁が関係人口として地域を訪れるきっかけとなったと多くの者が回答している。
- 就労型については、“仕事の関係で訪れたことがある”ことを一番のきっかけとしている。
- 直接寄与型は、他の分類と比較して、訪問するきっかけにばらつきがある。



(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施) (三大都市圏の関係人口、訪問地域数ベース)

# 14. 関係先を移住先としてどのように考えているか

- 関係人口（訪問系）に対して関係先への移住先としてどのように考えているかを尋ねたところ、「移住したい地域である」または「どちらかといえば移住したい地域である」と回答した人は、全体の約5割程度である。
- 一方で、直接寄与型は移住先として捉えている傾向が若干強い。



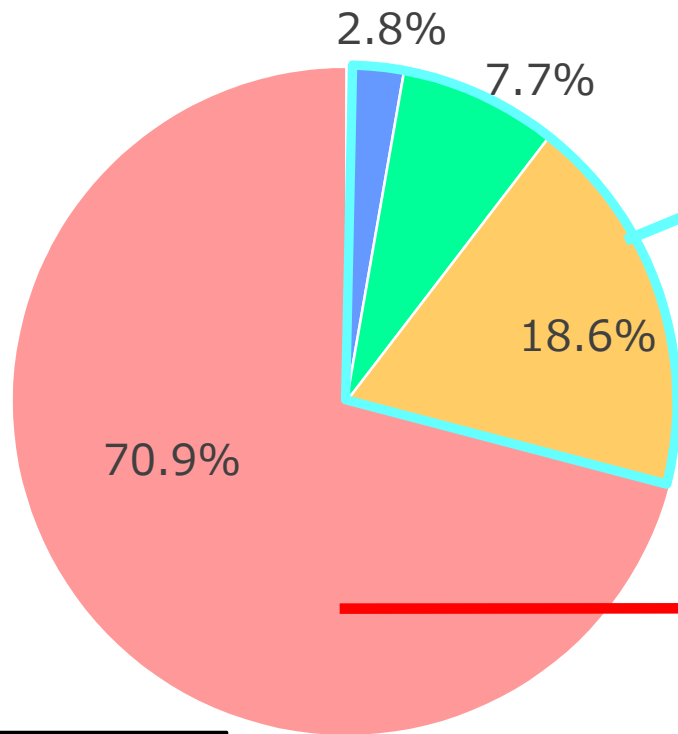
## II. 地域との関わりを深化させるために 必要なことは何か



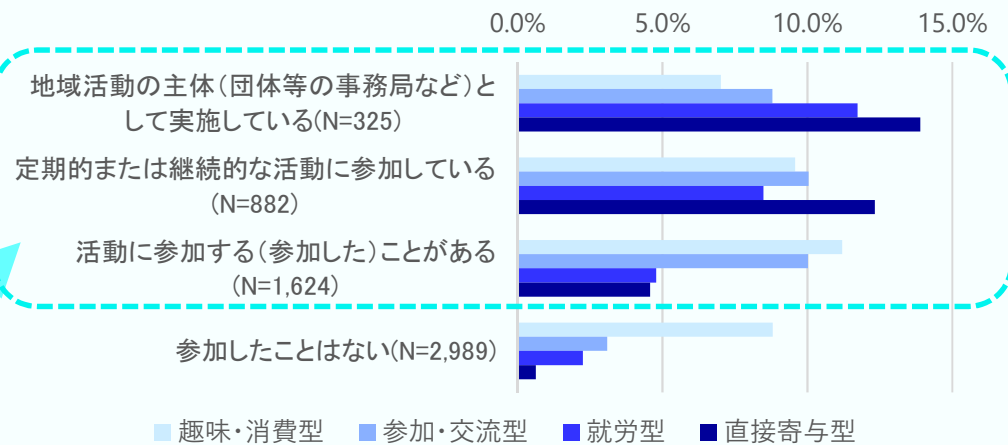
# 15. 三大都市圏居住者の居住地での地域活動への参加状況

- 三大都市圏居住者の約7割の人が居住地での地域活動に参加したことがない状況
- 地域活動に参加しない理由としては、地域社会とのかかわりの煩わしさや時間的な負担をあげている

- 地域活動の主体(団体等の事務局など)として実施している
- 定期的または継続的な活動に参加している
- 活動に参加する(参加した)ことがある
- 参加したことはない

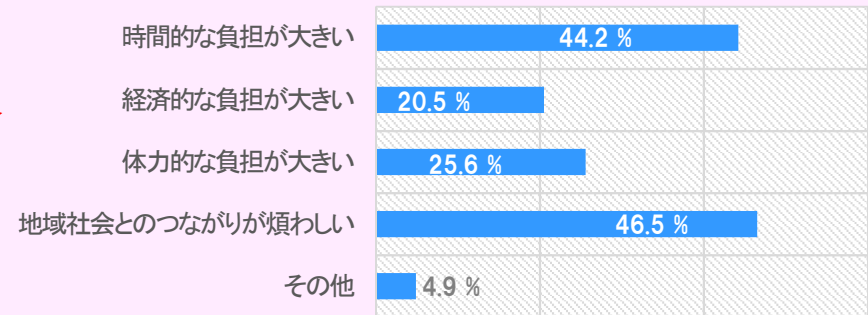


地域活動に参加している人が関係人口(訪問系)となった割合(大分類ごと)



地域活動に参加しない理由

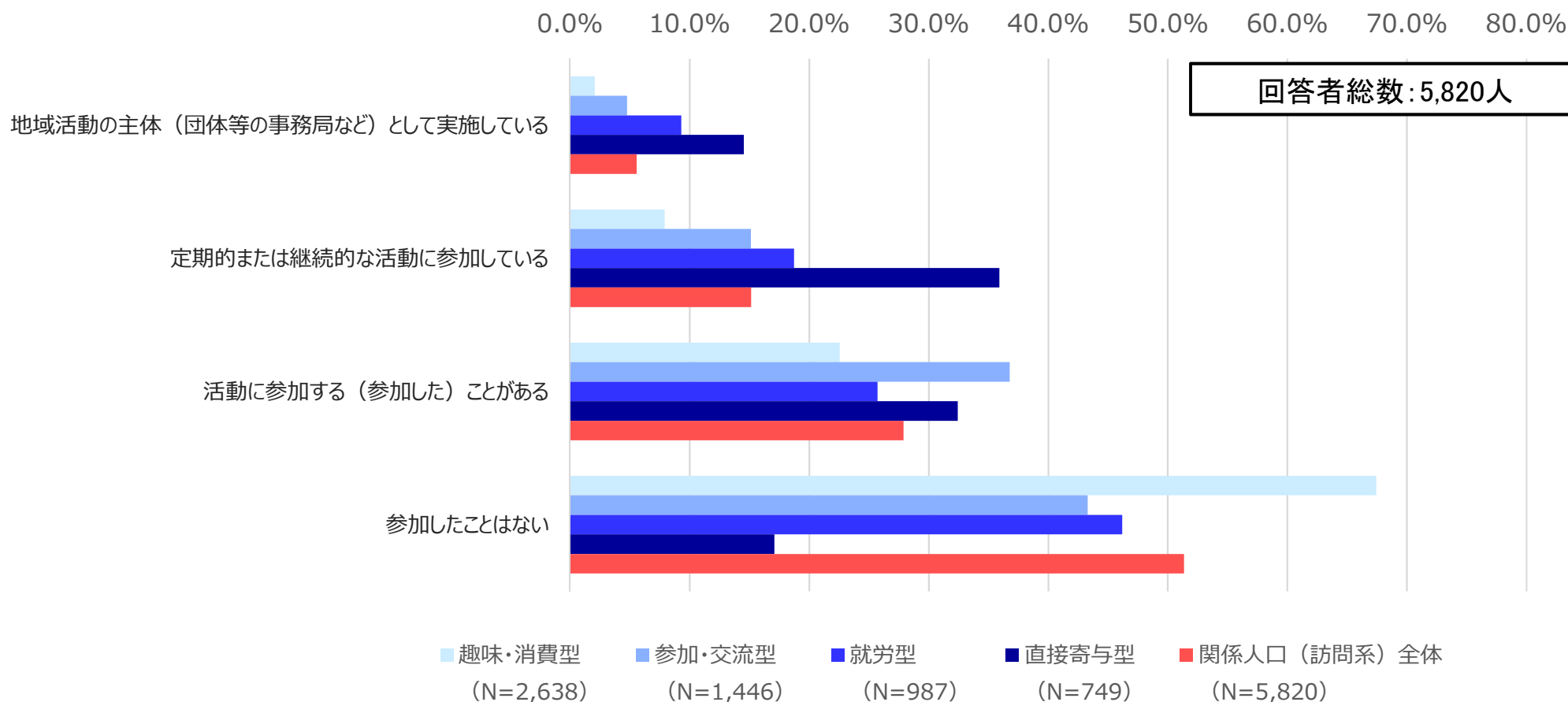
※ 複数回答可



回答者総数: 28,466人

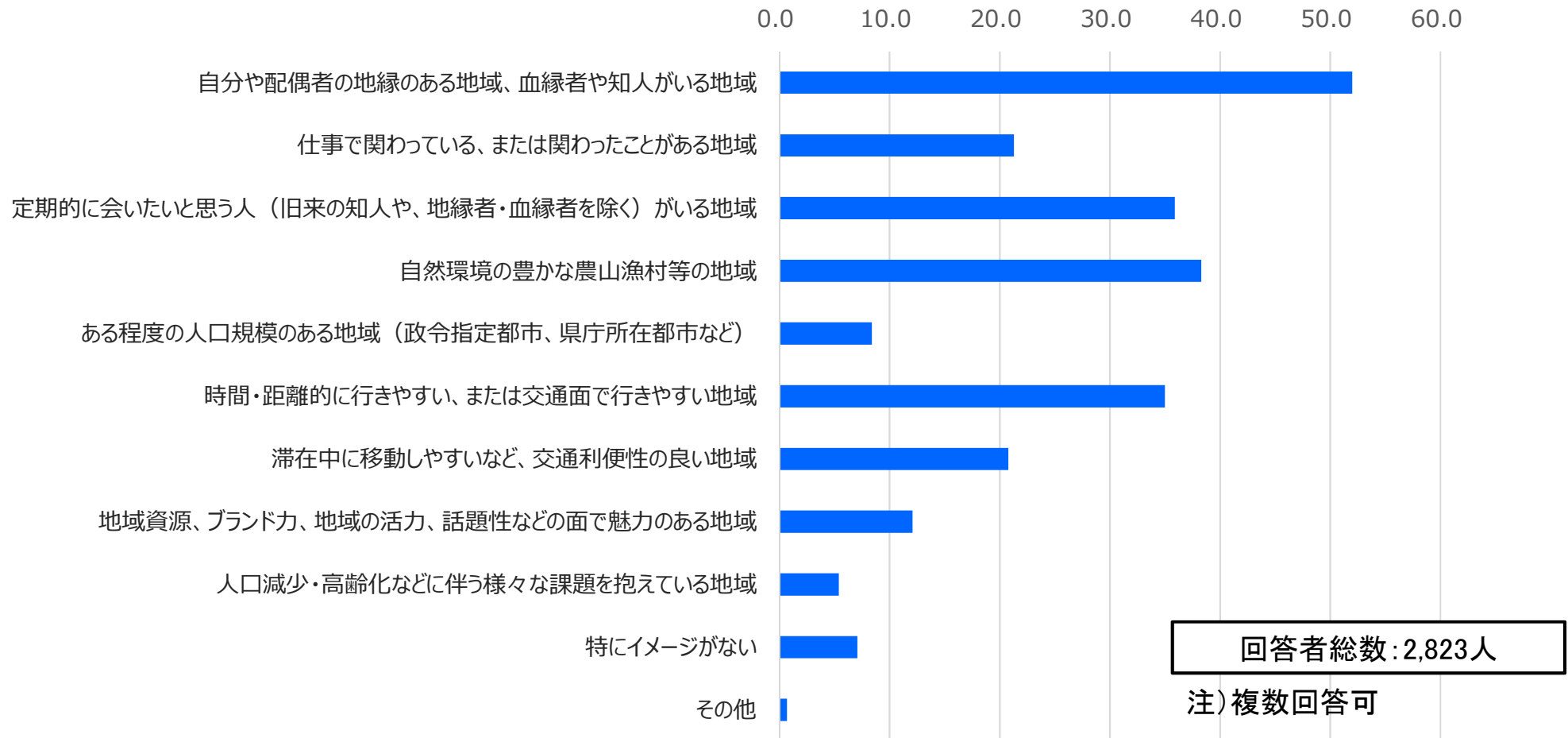
# 16. 大分類ごとの関係人口の地域活動への参加状況

- 直接寄与型は、比較的多くの人が居住地の地域活動に参加している傾向があり、約半数の人が定期的または継続的に参加している。
- 一方で、趣味・消費型は7割に近い人が地域活動に参加したことがないと回答しており、アンケート1次調査回答者の傾向に近いイメージである。



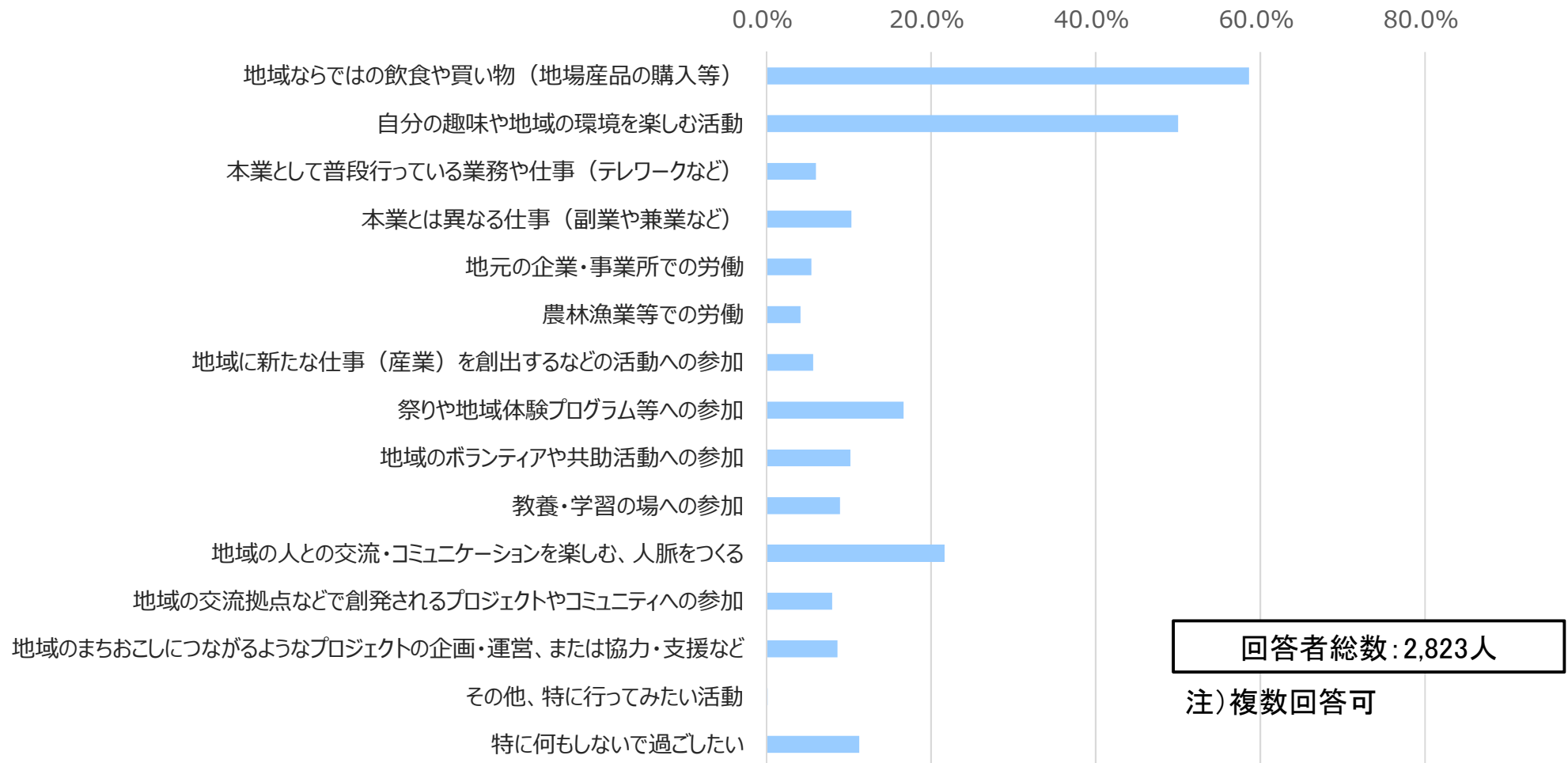
# 17. 特定の地域と関わりのない人が関わりを持つ地域のイメージ 国土交通省

- 特定の地域と関わりのない人のうち、「訪問・滞在して関わる地域があると良い」と回答した人が持つ関わり先のイメージについては、地縁・血縁がある地域が約半数を占めている。
- 一方で、定期的に会いたいと思う人（知人、親戚等を除く）がいる地域と回答した人も一定割合で存在しており、「人」がキーワードとなっていると思料できる。



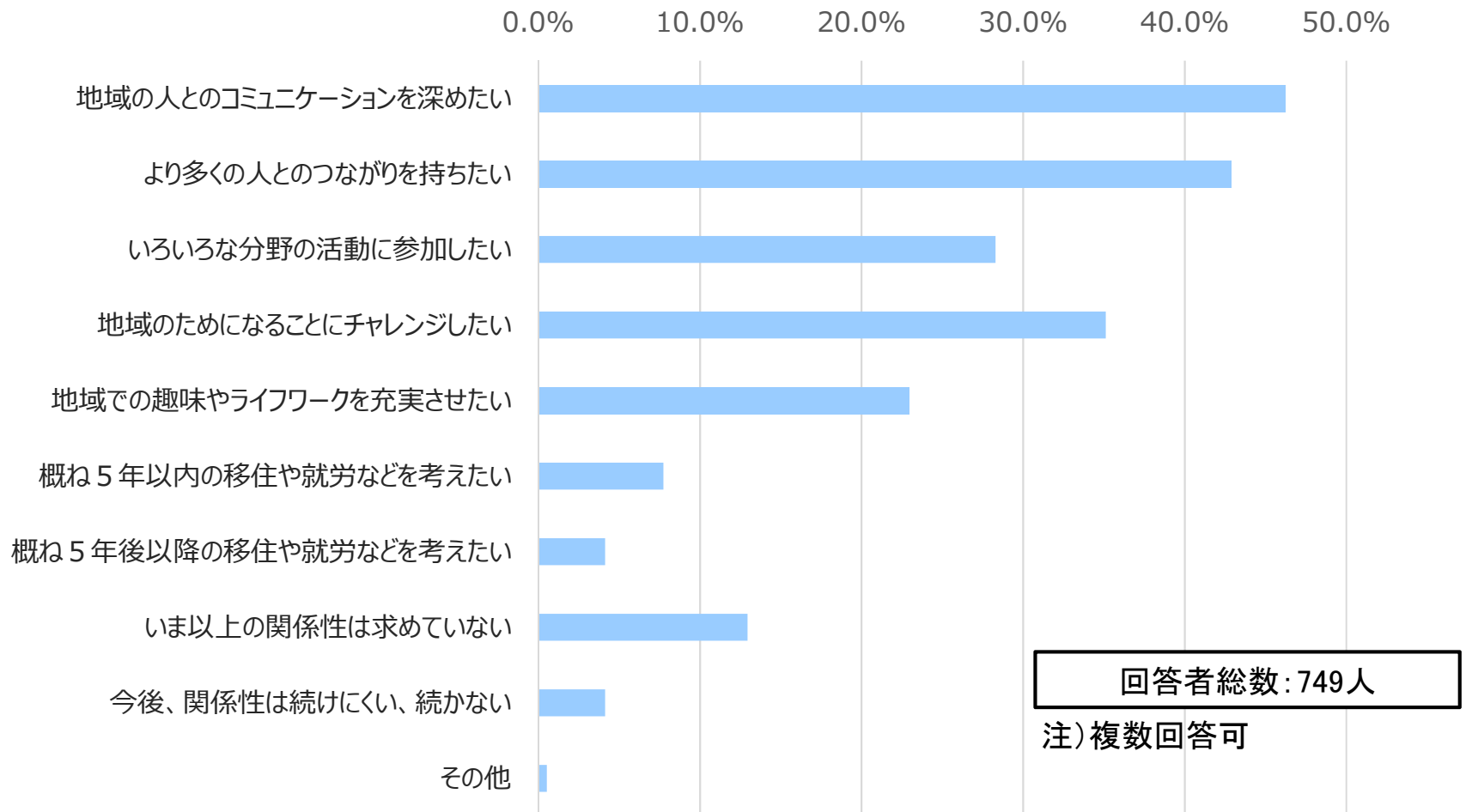
# 18. 特定の地域と関わりのない人が地域で行ってみたい過ごし方 国土交通省

- 特定の地域と関わりのない人のうち、「訪問・滞在して関わる地域があると良い」と回答した人が地域で行ってみたい過ごし方については、消費活動及び趣味活動が大半を占めている。
- 一方で、「地域の人との交流・コミュニケーションを楽しむ、人脈をつくる」と回答した人が約2割存在する。



# 19. 直接寄与型が考える地域との関わりの深化の方向性

- “直接寄与型”は地域との関係性の深化の方向性として、“地域の人とのコミュニケーションを深めたい”、“より多くの人とのつながりを持ちたい”をいう希望が多い。
- 一方で、移住や就労に関する希望は少なく、関係人口としての関わりの深化を求めている。

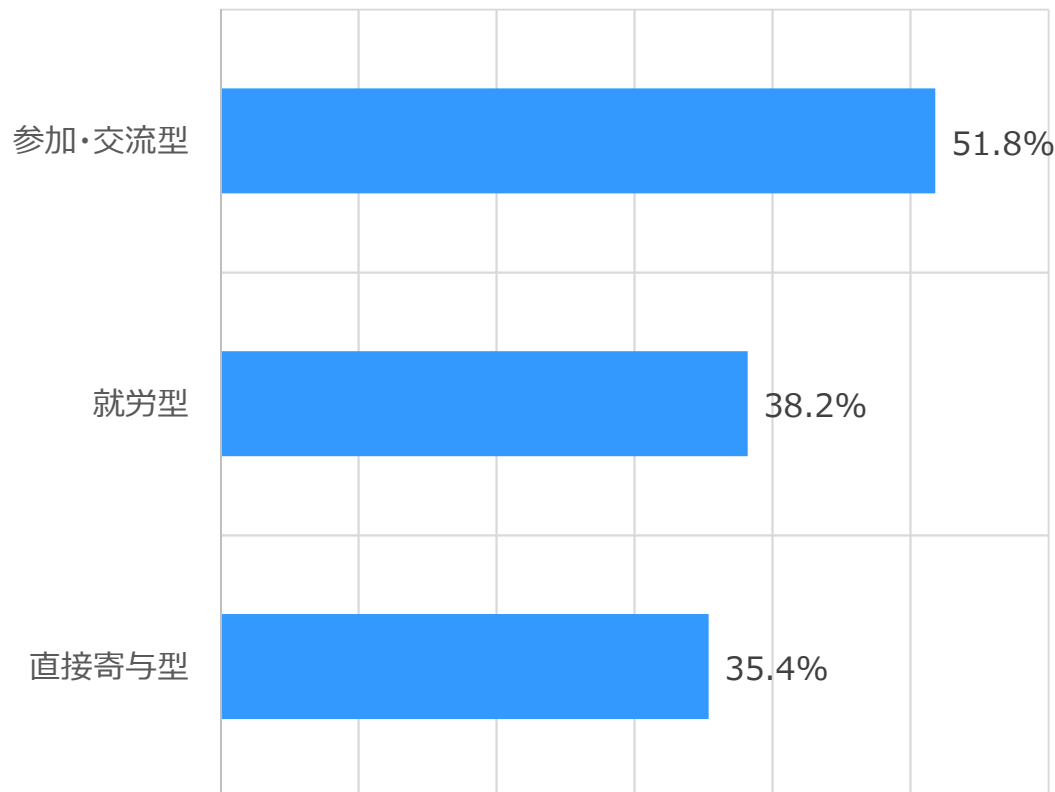


## 20. 大分類ごとの地縁・血縁先への関わり方

- 直接寄与型でも、地縁・血縁先へ立ち寄る割合は3割強あり、地縁・血縁が関係人口の入り口となっている可能性がある。
- 一方で、内発的発展への直接寄与度が高い人（直接寄与型>就労型>参加・交流型）ほど、地縁・血縁先と関わっている割合が低くなっていることから、地縁・血縁先以外の地域と関わられるようなきっかけが重要。

### 大分類ごとの地縁・血縁先へ立ち寄る割合

回答者総数: 3,182人



内発的発展への直接寄与度が高まるにつれて、地縁・血縁先へ立ち寄る人の割合が減少



**自発的に地域に関わっている人は地域への貢献度が高いのではないか**

一方、関係人口（訪問系）の関わり先の約2割は、地縁・血縁のある場所



**地縁・血縁が地域と関わるきっかけとなっていることの裏付け**

### III. 関係人口（訪問系）類型化マップ

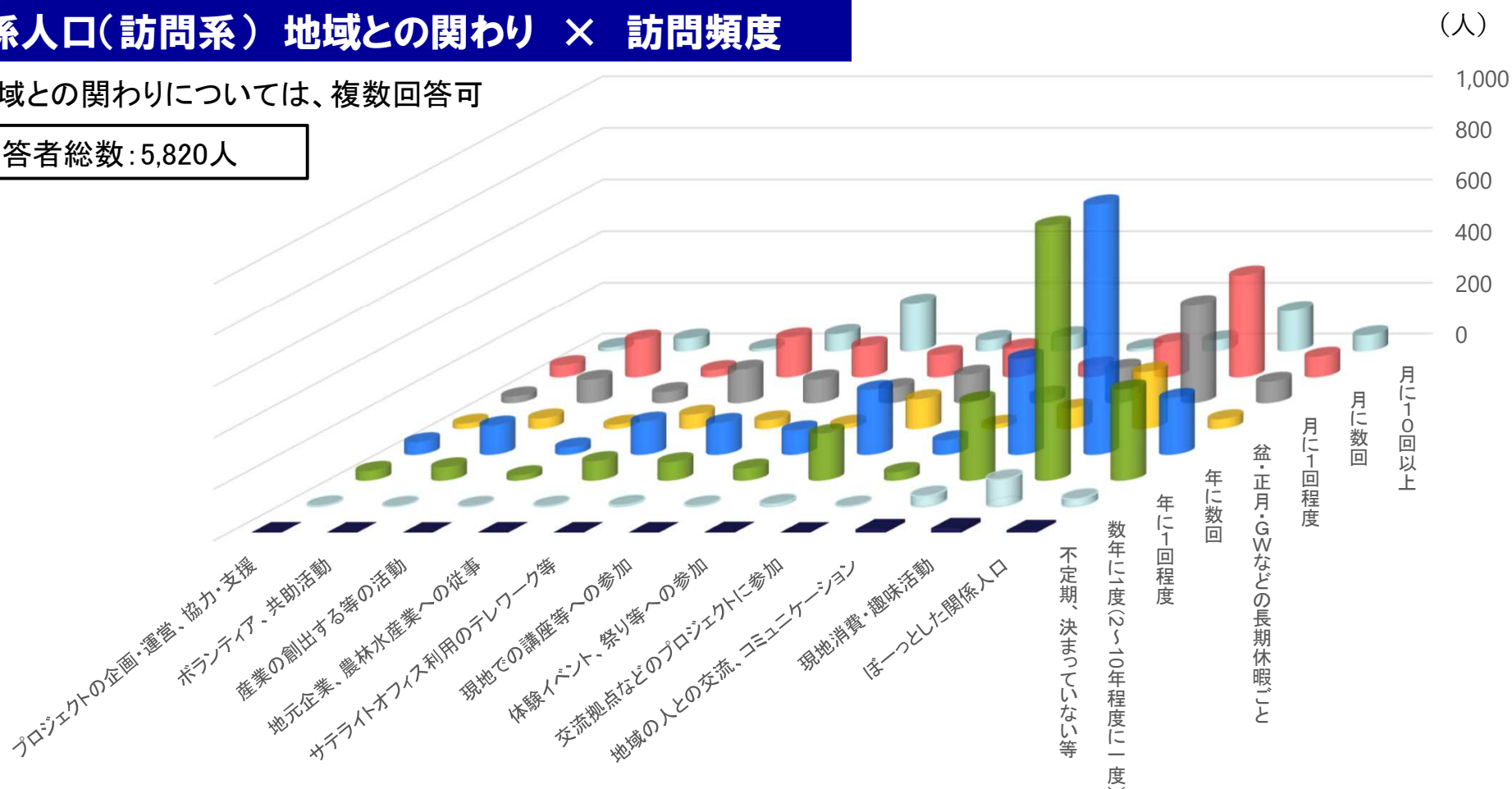
# 21. 関係人口(訪問系)の地域における活動ポテンシャル①

- 関係人口(訪問系)の地域での過ごし方(類型で整理)と訪問頻度をマトリクスで表現すると下図のようになる。
- ボリュームゾーンは、現地消費・趣味活動の年に1回程度及び年に数回の訪問である。
- 一方で、月に数回以上訪問し、地域での副業(地元企業、農林水産業への従事など)やボランティア、共助活動等を行っている人も一定程度存在している。

## 関係人口(訪問系) 地域との関わり × 訪問頻度

※ 地域との関わりについては、複数回答可

回答者総数: 5,820人



(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施) (三大都市圏の関係人口、人数ベース)



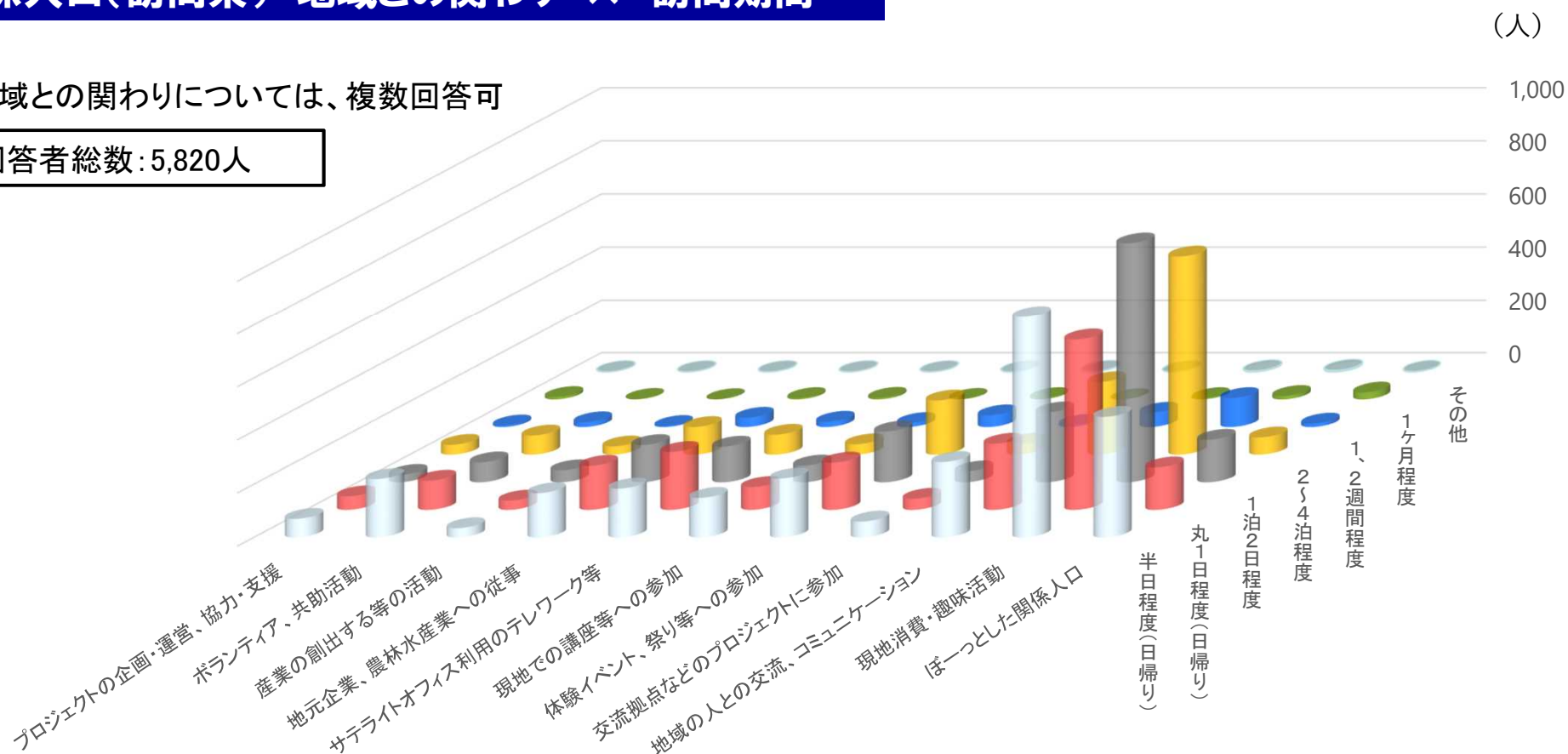
## 22. 関係人口(訪問系)の地域における活動ポテンシャル②

- 関係人口(訪問系)の地域での過ごし方(類型で整理)と訪問頻度をマトリクスで表現すると下図のようになる。
- ボリュームゾーンは、現地消費・趣味活動の2~4泊程度以下の部分である。
- また、その他の類型についても、2~4泊以下が大部分を占めている。

### 関係人口(訪問系) 地域との関わり × 訪問期間

※ 地域との関わりについては、複数回答可

回答者総数: 5,820人



# 【参考】アンケート結果の整理プロセス

---

# 参考1. 地域との関わりについてのアンケート (調査対象) 国土交通省

- 人口減少・少子高齢化において、地域の社会的・経済的活力を維持していくためには、地域と関係人口が協働しつつ、地域の活動力を高めていくことが有効である（関係人口が大きな役割を果たす可能性）。
- 関係人口の拡大・深化を図るためには、現状を踏まえた上で具体的な施策の方向性（気づきを与え、自発的な取組を促す施策）を示す必要があるが、関係人口はその実態が十分把握されていない。
- よって、今年度インターネットアンケートにより、試行的に三大都市圏の関係人口の実態把握を実施。

対象者：18歳以上の三大都市圏に居住する人（WEBリサーチモニター）

一次調査：30,000サンプル

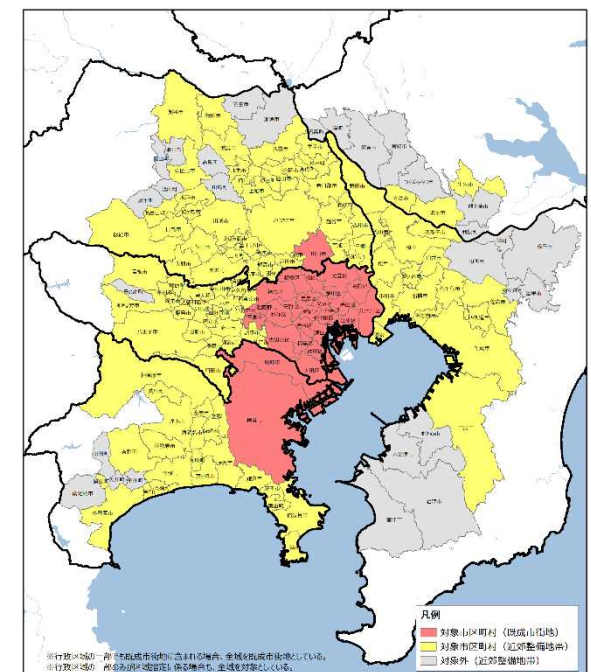
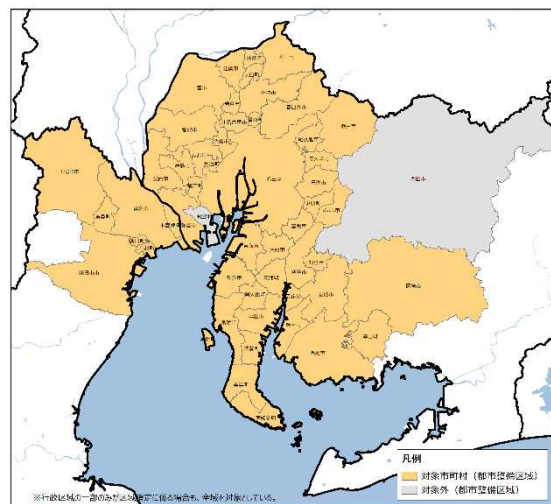
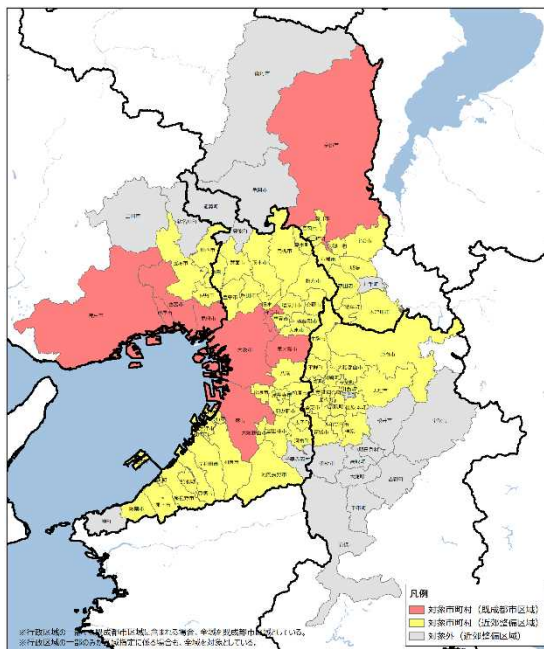
二次調査への移行は、訪問タイプ：最大10,000サンプル、非訪問タイプ：最大5000サンプルを想定

※ 地域区分ごとに、性別・年代別の人口比等に応じて配布数を設定

令和元年9月実施、有効回答数28,466人（18歳から99歳の男女が回答 男性：14,153人 女性：14,313人）

## 【調査対象地域】 下図の着色した地域（灰色部分を除く）

首都圏の既成市街地または近郊整備地帯、中部圏の都市整備区域、近畿圏の既成都市区域または近郊整備区域に含まれる市区町村（人口密度が当該大都市圏平均よりも低い、かつ、1次産業就業者割合が当該大都市圏平均よりも高い市町村を除く）



# 参考2. 地域との関わりについてのアンケート (調査フロー) 国土交通省

## 【一次調査】

### ○ 基本属性の調査

・性別 ・年齢 ・居住地 ・世帯構成 ・職業 ・副業可否 ・テレワーク可否 ・世帯収入 ・趣味等 ・出生地、出身地

日常生活圏、通勤圏等以外に定期的・継続的に関わりを持っている地域の有無

Yes  
(関係人口)

<(関係人口Y/NIに関わらず) 共通項目>

- ① 「関係人口」の認知度
- ② 現居住地での地域活動の現状
- ③ 地方居住経験の有無

No

### 地域との関わり方の確認

定期的・継続的な訪問先が「ある」人  
関係人口(訪問系)

その他  
関係人口  
(ふるさと納税等)

関わりのある地域名(回答者に明示してもらった上で、その地域について回答)

訪問先について、以下を調査(3地域まで)

- ✓ 具体的な地域(自治体)
- ✓ 訪問のきっかけ
- ✓ 訪問の頻度、訪問時の滞在時間
- ✓ 訪問先までの移手段、移動時間
- ✓ 訪問先で利用する滞在場所
- ✓ 訪問先での過ごし方
- ✓ 訪問先での活動の継続・深化の意向、理由
- ✓ 訪問先への将来的な移住意向、その理由
- ✓ 訪問先へのふるさと納税等の有無

関わりごとに整理

- ✓ 関わっている地域名
- ✓ 関わり継続年数
- ✓ 関わりきっかけ
- ✓ 訪問の希望の有無、その理由

## 【二次調査】

定期的・継続的な関係先を持つことの意向  
(所属会社の支社・営業所を訪れる出張、帰省を除く)

(意向ありの場合)  
✓ 関係先のイメージ  
✓ 関係先地域で携わりたい活動  
✓ 関係先地域を持つことの課題

(意向なしの場合)  
✓ 関わりを持ちたくない理由

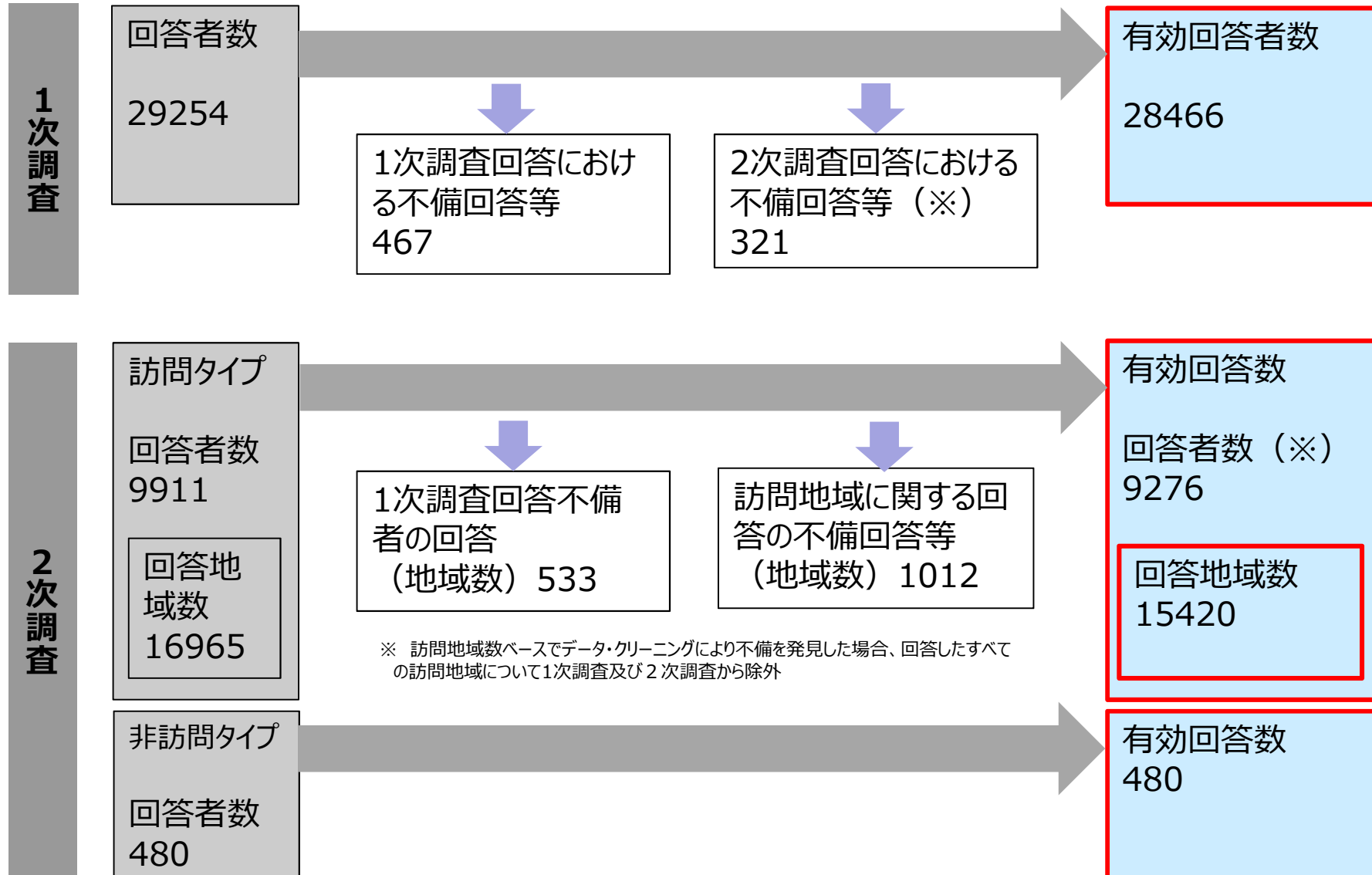
関心層

無関心・無関与層

### 【ポイント】

- 属性データの取得と併せて、副業及びテレワークの制度の有無及び利用率等のライフスタイルに関する実態を把握
- RP調査的な観点から、居住地における地域活動への参加状況を調査
- 幅広に関係人口が把握可能なように柔軟な質問項目を設定(分析時に調整が可能な質問項目を設定)  
※ 移動距離、複数地域への関わり、複数活動など
- 阻害(制約)要因を把握することにより、施策検討に資する材料を収集

# 参考3. 異常値棄却



# 参考4. 関係人口の範囲の検討

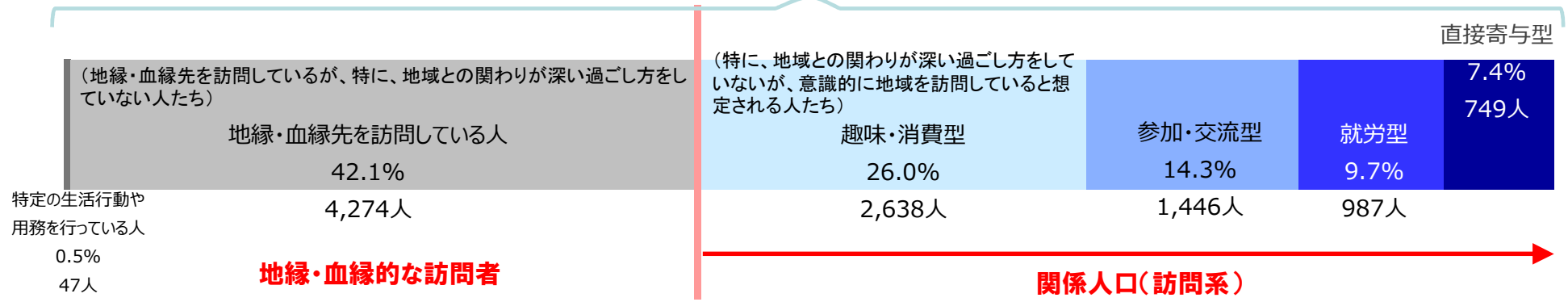
- 2次調査（訪問タイプ）回答者について、地域における過ごし方で分類すると、地縁・血縁先の訪問を主な目的として地域を訪れていると想定される人が存在しているため、1次調査の回答に止まったお盆・正月に帰省している人と合算して地縁・血縁先を訪問している人として整理し、さらに特定の生活行動や用務を行っている人とあわせて、「地縁・血縁的な訪問者」とした。
- その他の2次調査（訪問タイプ）回答者については、「関係人口（訪問系）」として、地域での過ごし方に応じて4つに大分類した。
- なお、人数ベースの大分類については、地域との関わりが強いと想定される取組を優先的に計測した。

## 関係人口の類型化(大分類)の検討

地縁・血縁的な訪問者	帰省を含み、自分や家族の家、親族の家等に滞在し、 <u>地域での飲食や趣味活動等のみを実施</u>	
関係人口(訪問系)	趣味・消費型	地縁・血縁先以外で、 <u>地域での飲食や趣味活動等のみを実施</u> ← 能動的に地域を訪問していると判断
	参加・交流型	地域の人との交流やイベント、体験プログラム等に参加
	就労型	地域においてテレワーク及び副業の実施、地元企業等における労働、農林水産業への従事
	直接寄与型	産業の創出、地域づくりプロジェクトの企画・運営、協力、地域づくり活動への参加等

人数ベースについては、地域との関わりが強いと想定される取組を計測

日常生活圏・通勤圏以外に定期的・継続的に関わりがある地域があり、かつ、訪問している人  
 = 2次調査(訪問タイプ)回答者 + お盆・正月に帰省している人  
 (N=10,141人)



(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和元年9月実施) (三大都市圏の関係人口、人数ベース)

# 参考5. 2次調査(訪問タイプ)回答者の大分類

## 2次調査(訪問タイプ)回答者の大分類

◎・・・いずれかを必ず含み、かつ滞在施設の条件あり  
 ●・・・いずれかを必ず含む  
 △・・・含まれても含まれていなくてもよい  
 ×・・・含まない  
 ※自己用務に関する施設・・・商業・サービス施設、医療・福祉施設、墓地・宗教施設 等

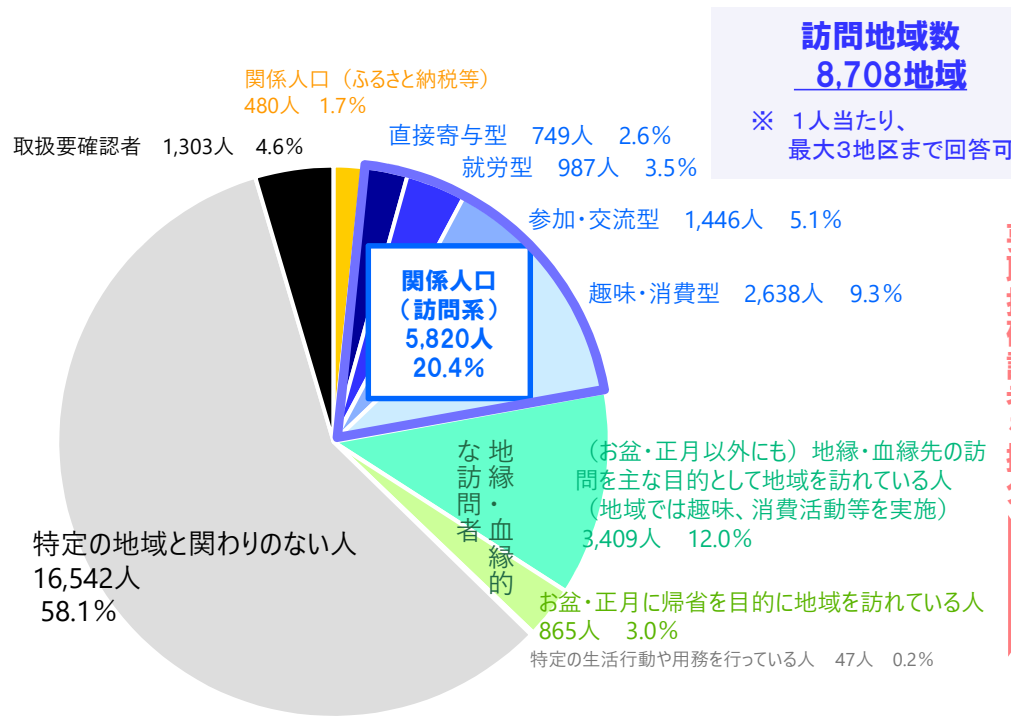
	地縁・血縁先を訪問している人		特定の生活行動や用務を行っている人	趣味・消費型	参加・交流型	就労型	直接寄与型
	地縁・血縁先の訪問のみ	地縁・血縁先およびそれ以外の施設等を利用	特定の生活行動や自己用務のみ	地縁血縁先以外で趣味・消費活動			
	・過ごし方が「1,2,15~17」のみ ・滞り場所が「自分、家族が所有等する物件」「親族が所有等する物件」のいずれかまたは両方のみ	・過ごし方が「1,2,15~17」のみ ・滞り場所に「自分、家族が所有等する物件」「親族が所有等する物件」のいずれかまたは両方を含むもの	・滞り場所が自己用務に関する施設(※)のみで、過ごし方が15~17のもの	・過ごし方が「1,2,15~17」のみ ・滞り場所に「自分、家族が所有等する物件」「親族が所有等する物件」を含まないもの			
	2,991	418	47	2,638	1,446	987	749
うち、地縁・血縁関連型(滞り場所に自分、家族、親族が所有する物件等が含まれるもの)	2,991	418	0	0	749	377	265
1 地域ならではの飲食や買い物(地場産品の購入等)	◎	◎	×	●	△	△	△
2 自分の趣味や地域の環境を楽しむ活動	◎	◎	×	●	△	△	△
3 本業として普段行っている業務や仕事(テレワークなど)	×	×	×	×	×	●	△
4 本業とは異なる仕事(副業や兼業など)	×	×	×	×	×	●	△
5 地元の企業・事業所での労働	×	×	×	×	×	●	△
6 農林漁業等での労働	×	×	×	×	×	●	△
7 地域に新たな仕事(産業)を創出するなどの活動への参加	×	×	×	×	×	×	●
8 祭りや地域体験プログラム等への参加	×	×	×	×	●	△	△
9 地域のボランティアや共助活動への参加	×	×	×	×	×	×	●
10 教養・学習の場への参加	×	×	×	×	●	△	△
11 地域の人との交流・コミュニケーションを楽しむ、人脈をつくる	×	×	×	×	●	△	△
12 地域の交流拠点などで創発されるプロジェクトやコミュニティへの参加	×	×	×	×	●	△	△
13 地域のまちおこしにつながるようなプロジェクトの企画・運営、または協力・支援など	×	×	×	×	×	×	●
14 その他(回答内容から、他の選択肢及び16-17に振り分けを行ったため、該当なし)	-	-	-	-	-	-	-
15 特に何もしないで過ごす	◎	◎	◎	●	△	△	△
16 墓参、家族・親族等の世話、面会、同窓会等	◎	◎	◎	●	△	△	△
17 自己の用務、生活行動等(日常的な買物、飲食、通院、生活サービス享受等)	◎	◎	◎	●	△	△	△

# 参考6. アンケート回答結果の割り振り

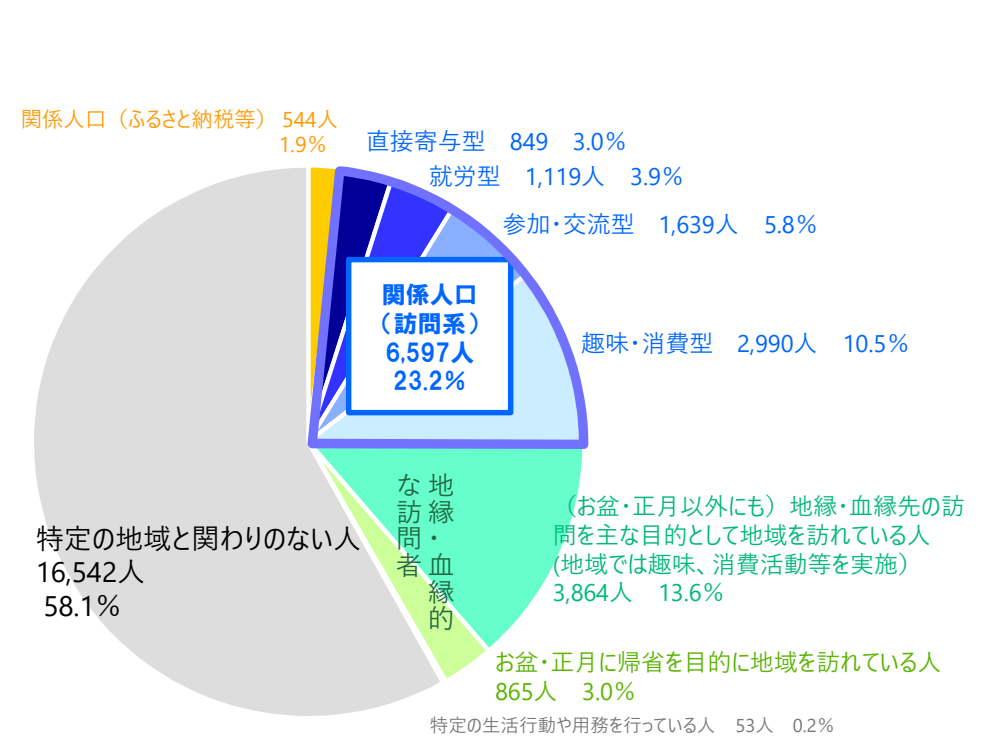
- 取扱要確認者（2次調査を回答する資格があるにも関わらず、2次調査回答者数制限により1次調査で終了した人）について、2次調査の回答結果に基づき按分を行ったところ、関係人口（訪問系）の割合は約23%となる。
- また、帰省的な位置づけで地域を定期的に訪問している人が約17%存在している。

## 三大都市圏の関係人口

見直し前



見直し後



要取扱確認者を按分

有効回答数: 28,466人



# 参考7. アンケート回答結果の割り振り（表）

地域との関わりによる整理				取扱要確認者按分前		取扱要確認者按分後	
				人数ベース（人）	割合	人数ベース（人）	割合
一次調査のみ	特定の地域と関わりのない人			16,542	58.1%	16,542	58.1%
	地縁・血縁的な訪問者	地縁・血縁先を訪問している人	お盆及び正月のみの帰省	865	3.0%	865	3.0%
（お盆及び正月以外にも）地縁・血縁先の訪問を主な目的として地域を訪れている人（趣味・消費活動を含む）			2,991	10.5%	3,390	11.9%	
上記に加え、その他の施設を訪問			418	1.5%	474	1.7%	
特定の生活行動や用務を行っている人			47	0.2%	53	0.2%	
<b>地縁・血縁的な訪問者 計</b>			<b>4,321</b>	<b>15.2%</b>	<b>4,783</b>	<b>16.8%</b>	
二次調査	関係人口（訪問系） 訪問地域のべ数 8,708地域	趣味・消費型	地縁・血縁先以外で地域での飲食や趣味活動等を実施	2,638	9.3%	2,990	10.5%
		参加・交流型	地域のひととの交流やイベント、体験プログラム等に参加	1,446	5.1%	1,639	5.8%
		就労型	地域においてテレワーク及び副業の実施、地元企業等における労働、農林水産業への従事	987	3.5%	1,119	3.9%
		直接寄与型	産業の創出、地域づくりプロジェクトの企画・運営、協力、地域づくり活動への参加等	749	2.6%	849	3.0%
		<b>関係人口（訪問系）計</b>			<b>5,820</b>	<b>20.4%</b>	<b>6,597</b>
関係人口（ふるさと納税等）			480	1.7%	544	1.9%	
取扱要確認者			1,303	4.6%	-	-	
<b>合 計</b>				<b>28,466</b>	<b>100.0%</b>	<b>28,466</b>	<b>100.0%</b>

※ 「取扱要確認者」とは、2次調査の回答資格を有しながら、2次調査回答者数制限により1次調査で終了した人

※ 「取扱要確認者」については、2次調査の回答結果に基づき按分を実施